

II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

問6 鳥取県の施策等について、あなたの満足度をお聞きしますので、それぞれ5段階で評価をお願いします。(1~5のいずれかの数字に○をしてください。)

※「5」は満足、「1」は不満

問 6-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度

～「農業の活力増進に関する取組」の満足度がトップ～

「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「農業の活力増進に関する取組」が34.5%と最も割合が高く、次いで「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が32.9%、「スポーツによる交流促進を進める取組」、「海洋・森林等の環境保全と利活用の推進」が20.0%と続いている。

平成28年度-令和3年度を比較してみると、満足度は全ての年度で「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が3割台で推移している。「スポーツによる交流促進を進める取組」、「農業の活力増進に関する取組」、「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」は、2年度にそれぞれ大きく増加した数字を今年度も維持している。また、全ての項目において、「不満・やや不満」と回答した割合は減少傾向にある。

図13 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度(n=1,644)

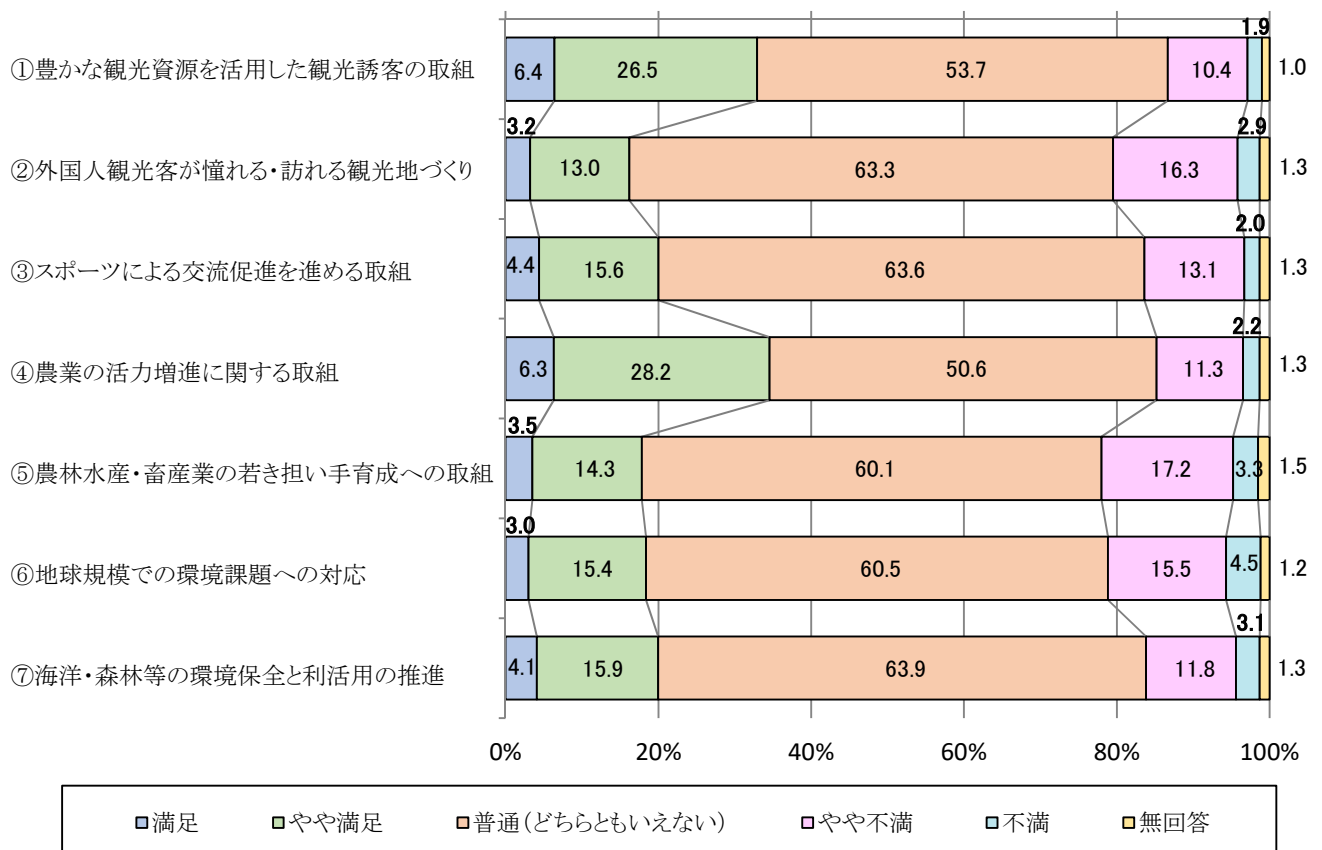
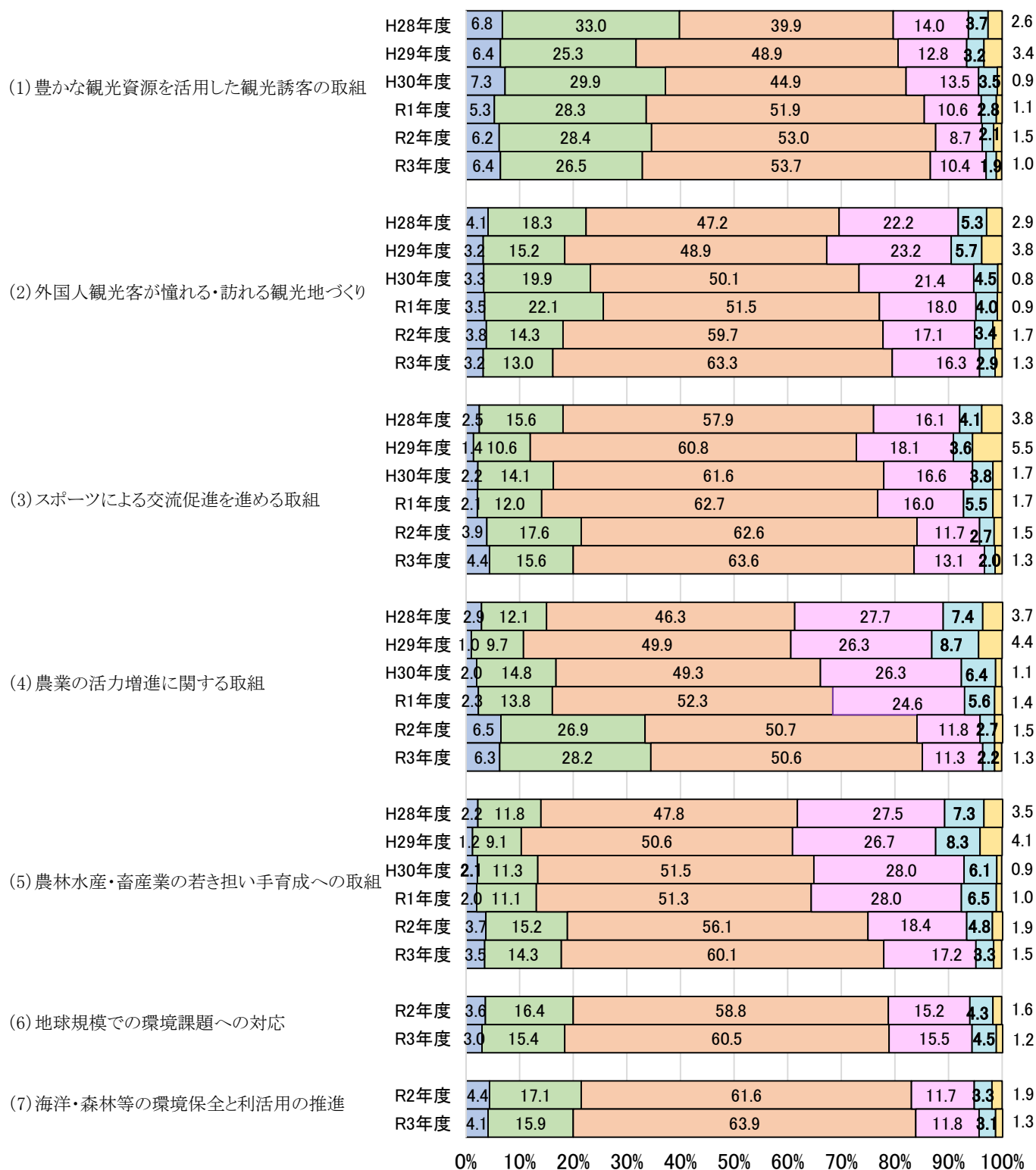


図 14 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」の満足度(年次比較)



■満足
 ■やや満足
 ■普通(どちらともいえない)
 ■やや不満
 ■不満
 ■無回答

●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

(4) 農業の活力増進に関する取組

【+1.1】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

(1) 豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組

【+1.5】

(3) スポーツによる交流促進を進める取組

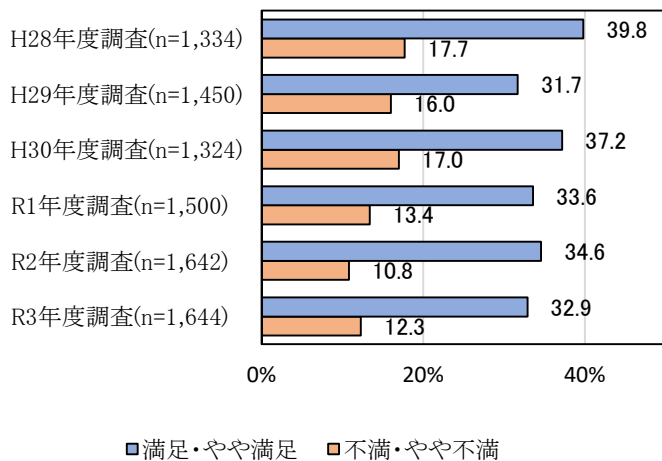
【+0.7】

(6) 地球規模での環境課題への対応

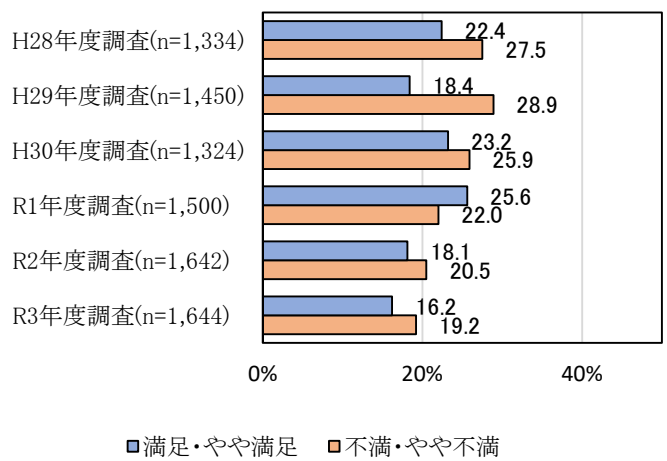
【+0.5】

●満足度・不満足度の比較(複数年度のデータがある項目を掲載)

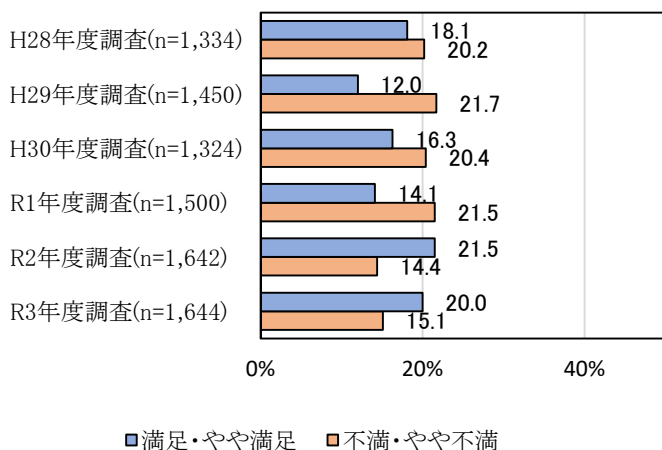
(1) 豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組



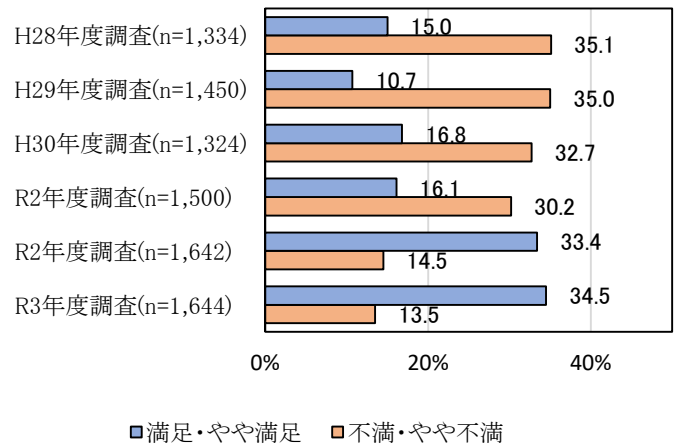
(2) 外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり



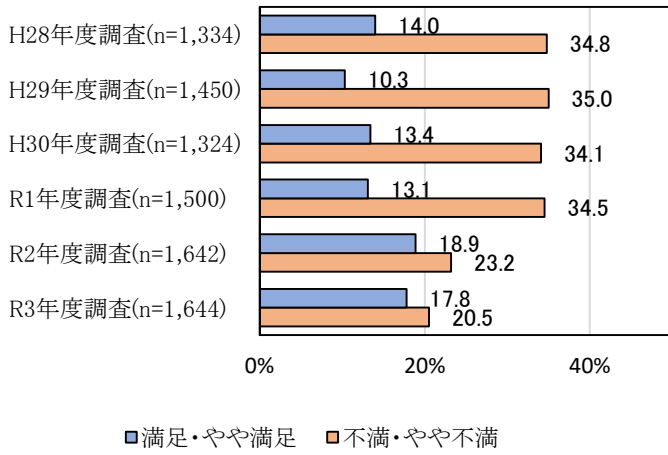
(3) スポーツによる交流促進を進める取組



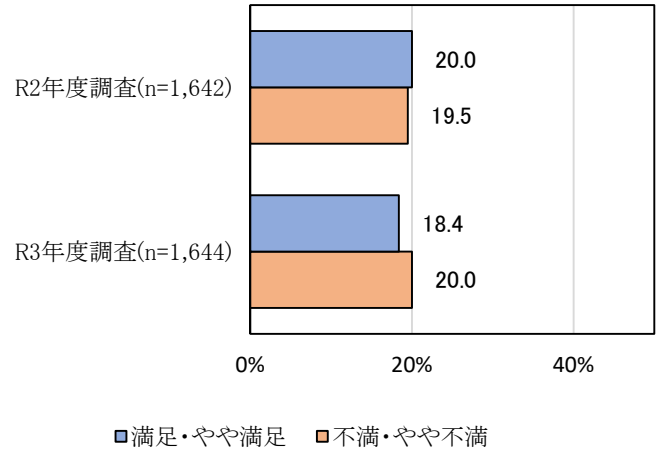
(4) 農業の活力増進に関する取組



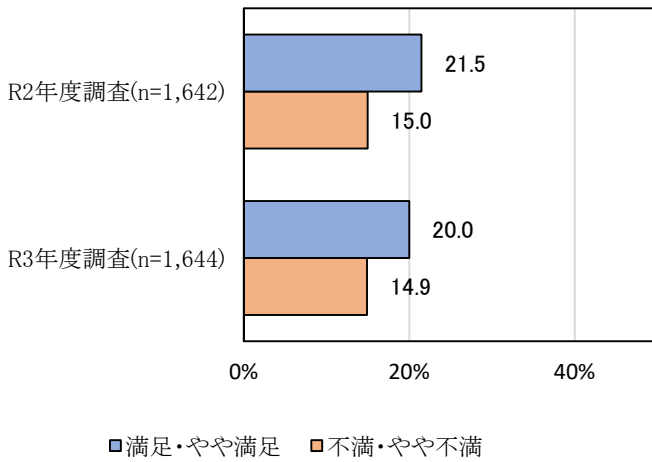
(5) 農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組



(6) 地球規模での環境課題への対応



(7) 海洋・森林の環境保全と利活用の推進



問 6-1-2 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」の施策等のうち、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～農林水産・畜産業の振興や観光資源を活用した誘客の取組が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」が56.6%と最も高く、次いで「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が53.5%、「農業の活力増進に関する取組」が48.1%と続いている。

平成28年度-令和3年度を比較してみると、「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」は毎年増加しており、「スポーツによる交流促進を進める取組」は29年度以降増加している。また、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」は2年度に大きく増加した数字を維持している。

年代別でみると、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」は20～30歳代が高く、「農業の活力増進に関する取組」は40歳代以上で高くなっている。

図15 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度(年次比較)

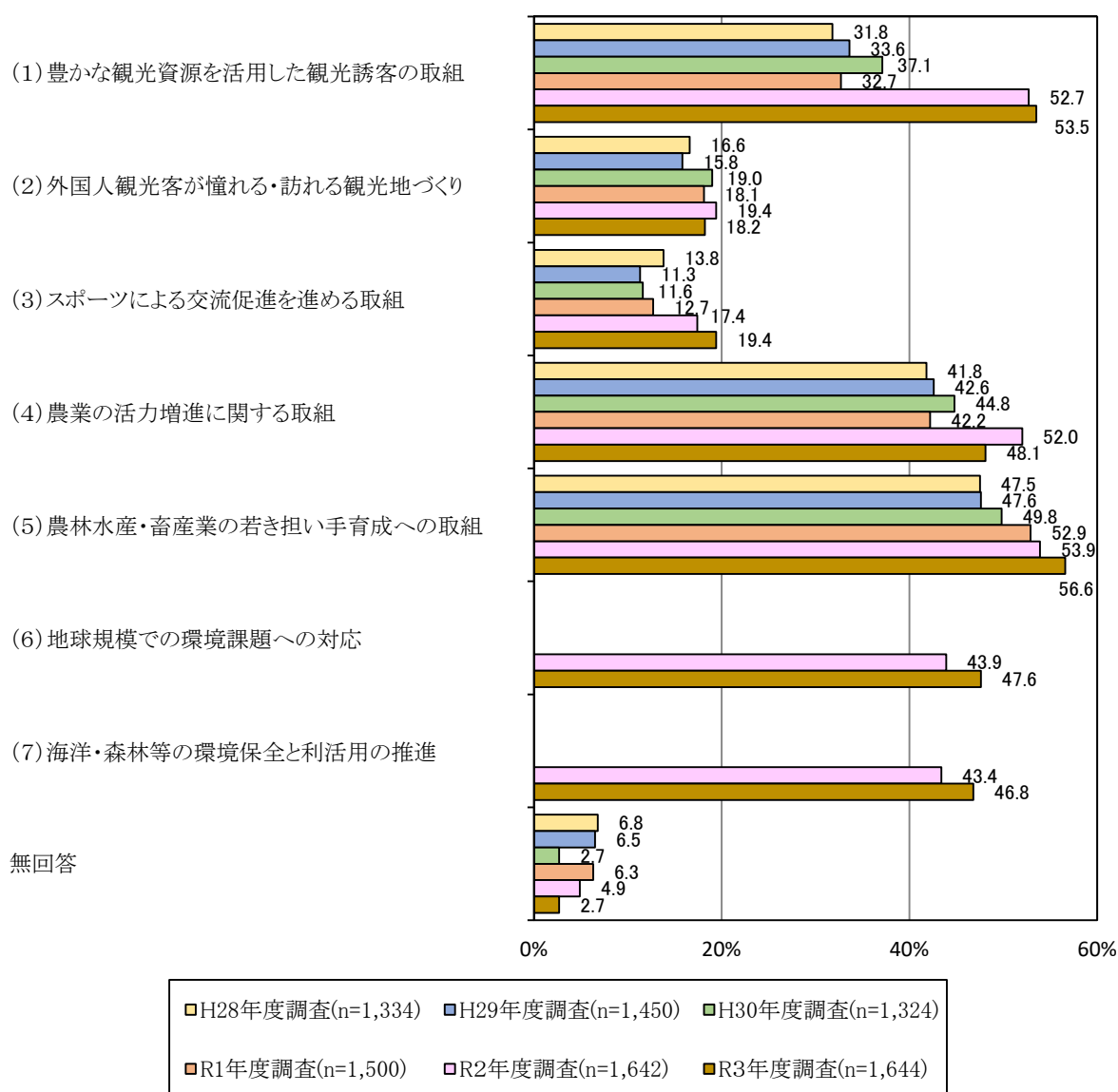
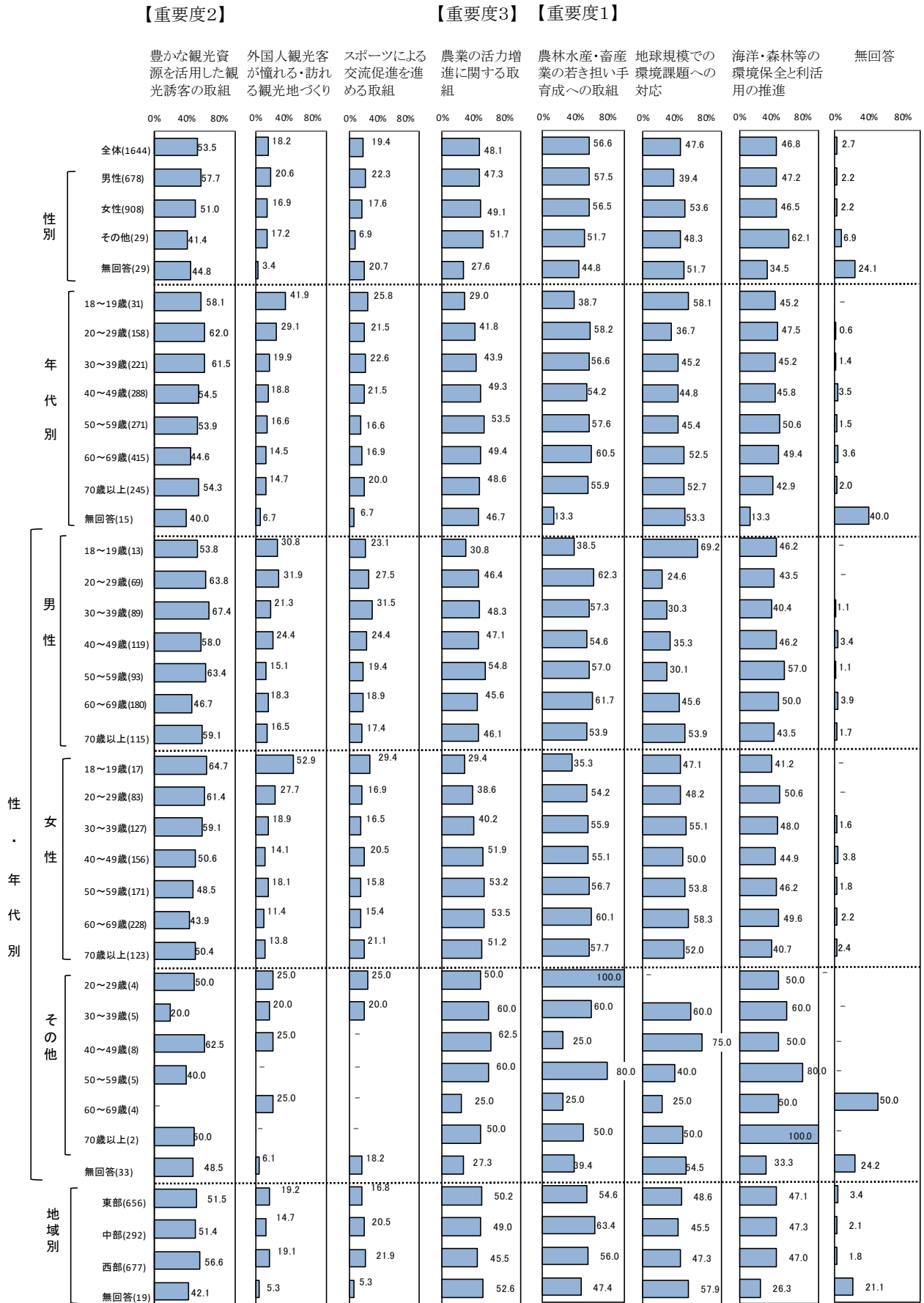


図16 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

問 6-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度

～「感染症に強い地域づくり」の満足度が高い～

「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「感染症に強い地域づくり」が 35.6%と最も割合が高く、次いで「健康寿命の延伸」が 25.9%、「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」が 24.7%となっている。

平成 28 年度-令和3年度を比較してみると、「未来を拓く人づくりの取組」、「鳥取ならではの防災づくり」の満足度は前年度と比較して2ポイント以上増加している。また、「未来を拓く人づくりの取組」の不満(不満・やや不満足)は減少傾向となっており、「絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組」の不満足は2年度に大幅に減少した数字を維持している。

図17 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度 (n=1,644)

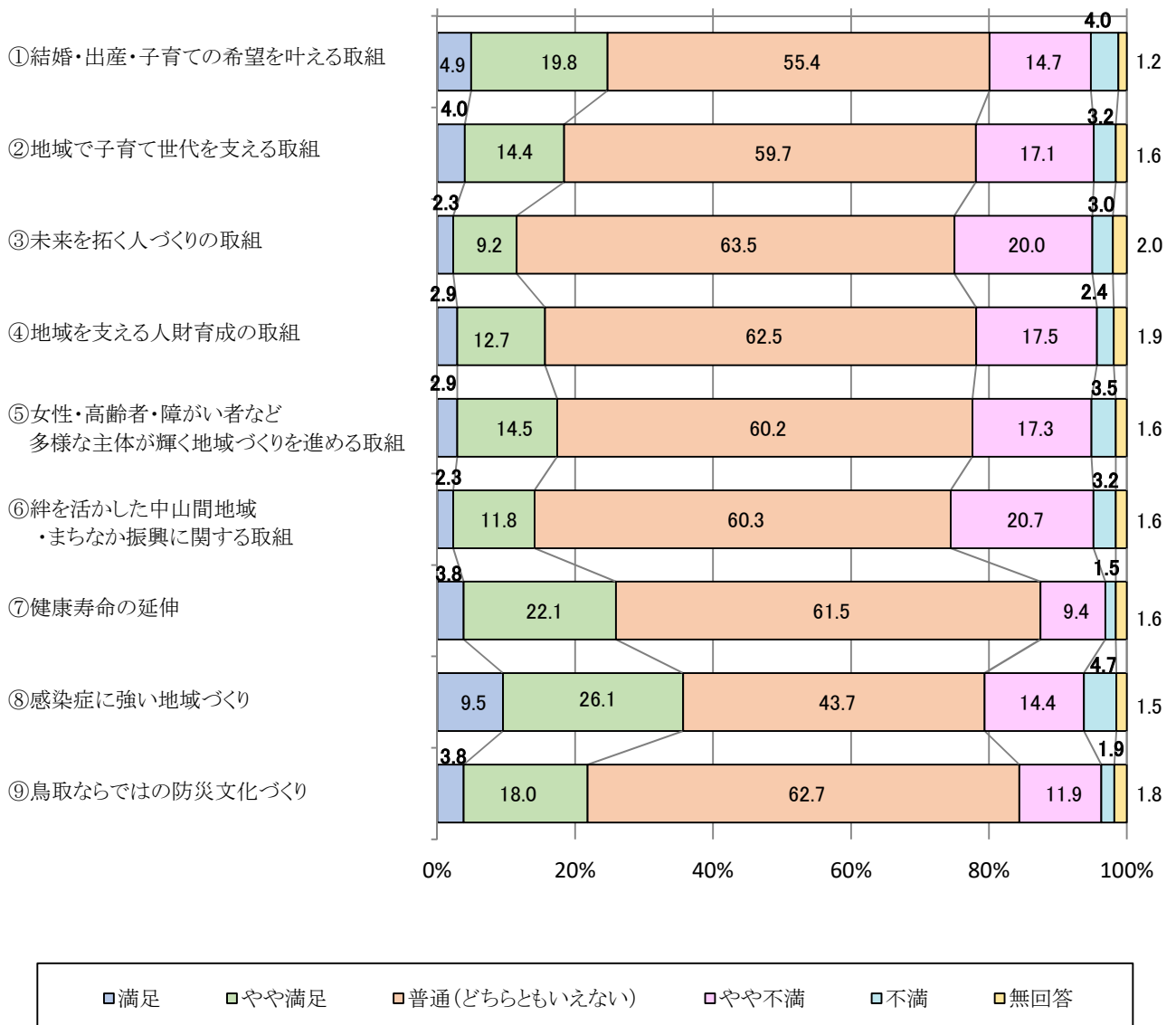
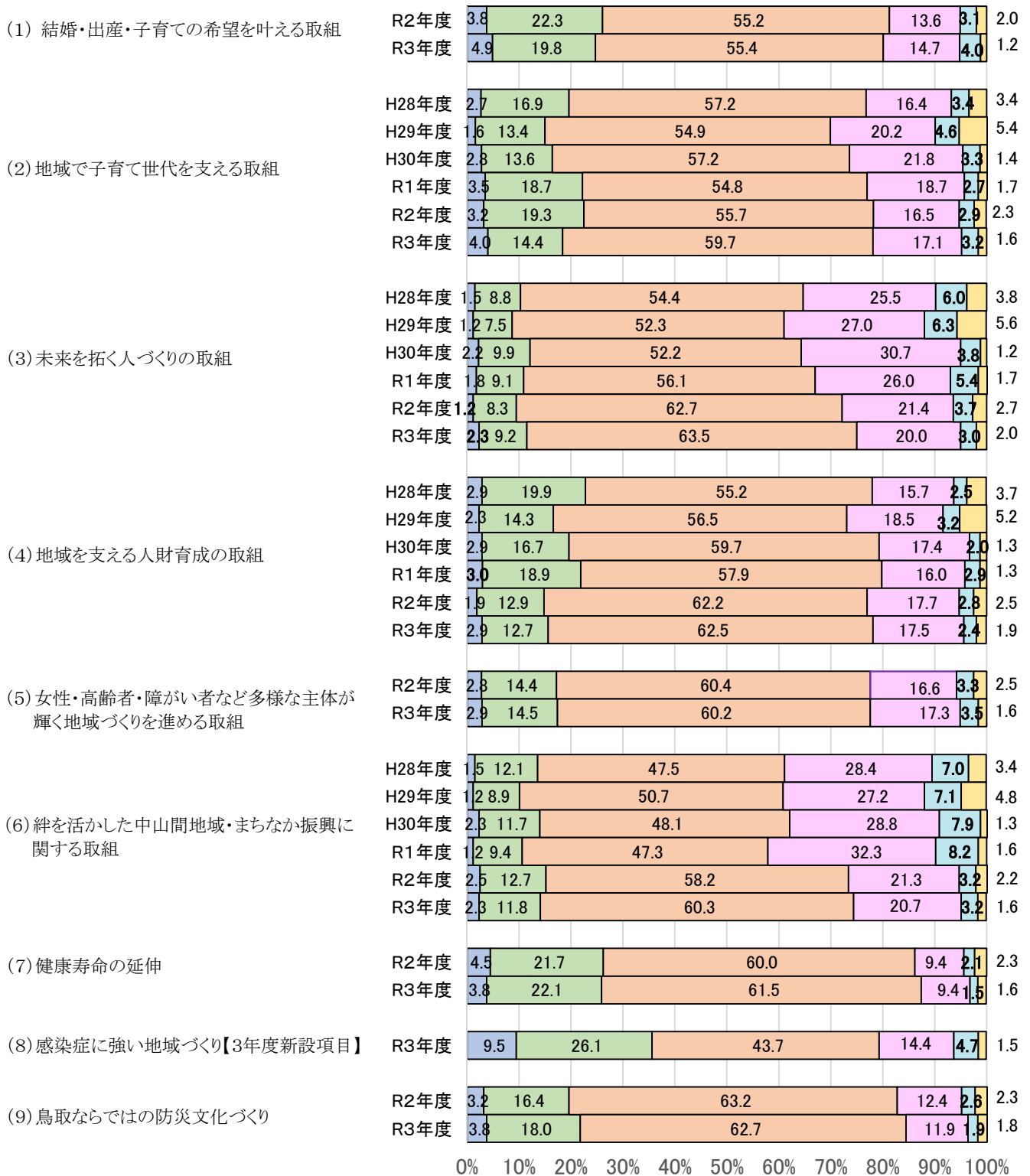


図 18 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度(年次比較)



□満足 □やや満足 □普通(どちらともいえない) □やや不満 □不満 □無回答

●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

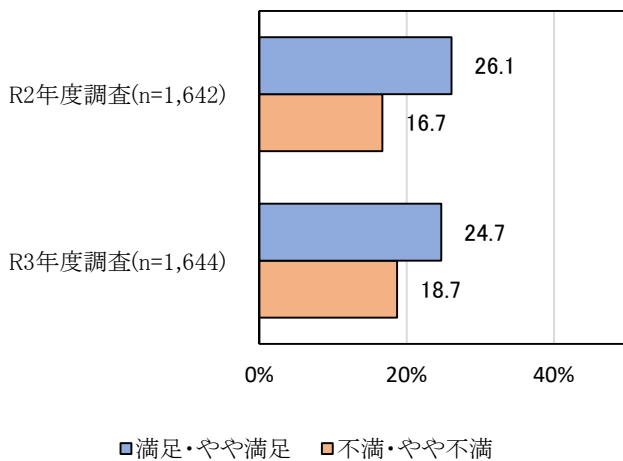
- (9) 鳥取ならではの防災文化づくり 【+2.2】
- (3) 未来を拓く人づくりの取組 【+2.0】
- (4) 地域を支える人財育成の取組 【+0.8】
- (5) 女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組 【+0.2】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

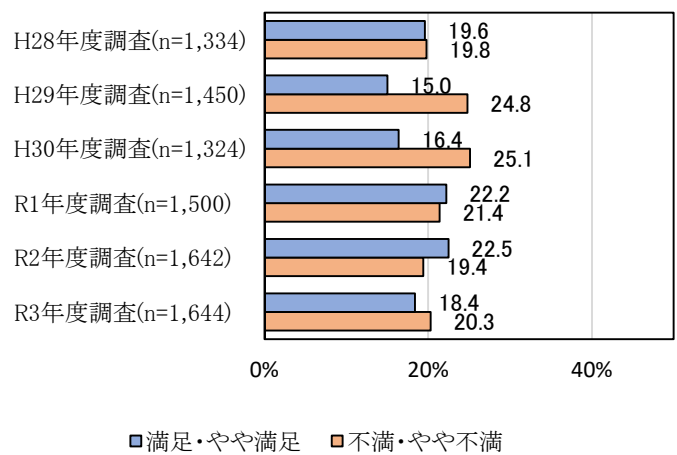
- (1) 結婚・出産・子育ての希望を叶える取組 【+2.0】
- (2) 地域で子育て世代を支える取組 【+0.9】
- (5) 女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組 【+0.9】

●満足度・不満足度の比較

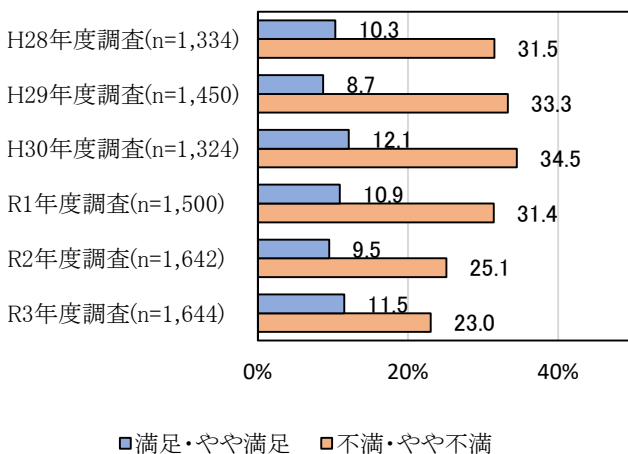
(1) 結婚・出産・子育ての希望を叶える取組



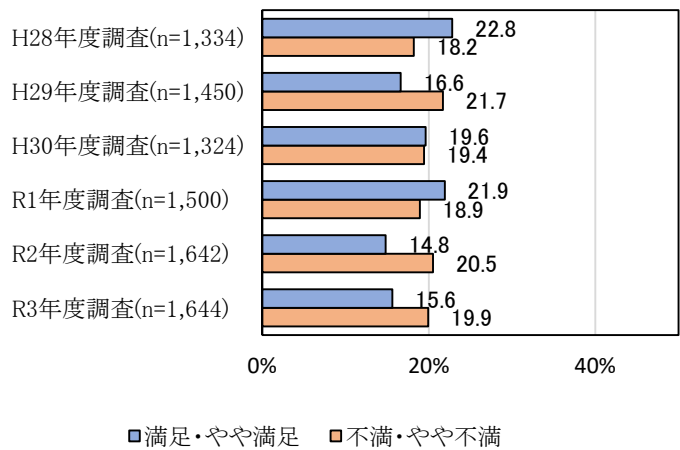
(2) 地域で子育て世代を支える取組



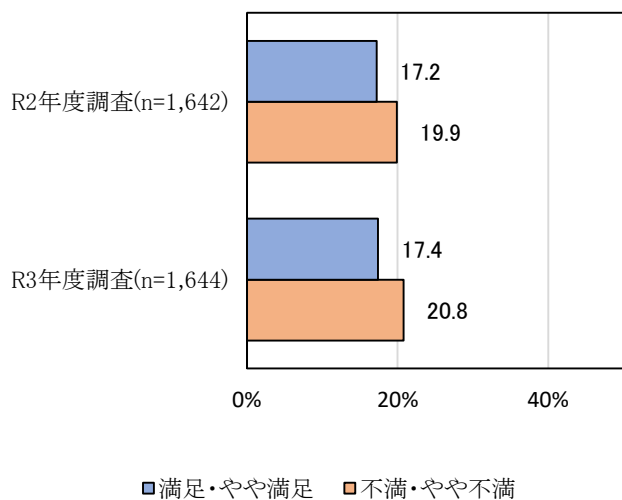
(3) 未来を拓く人づくりの取組



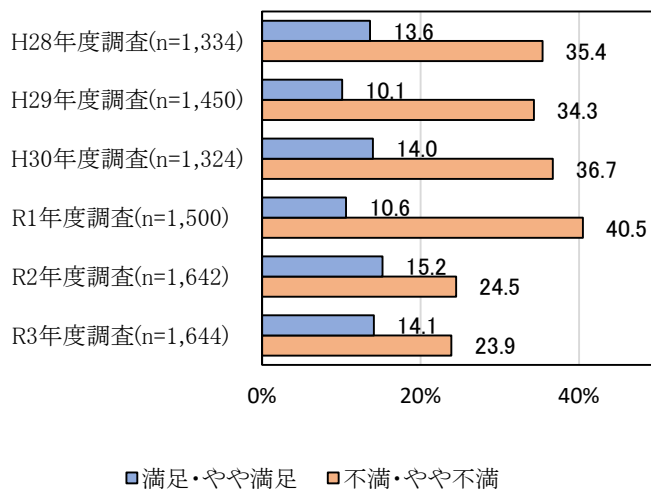
(4) 地域を支える人財育成の取組



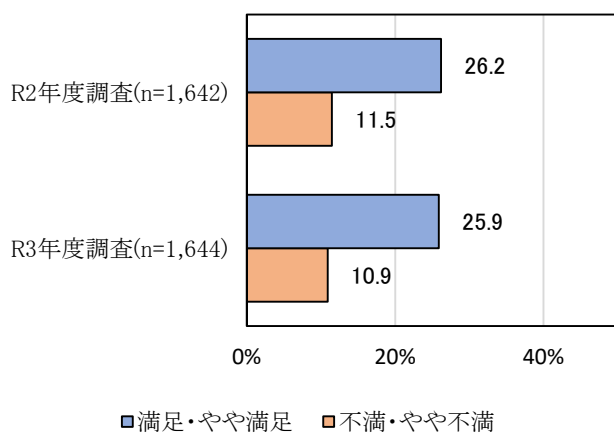
(5) 女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組



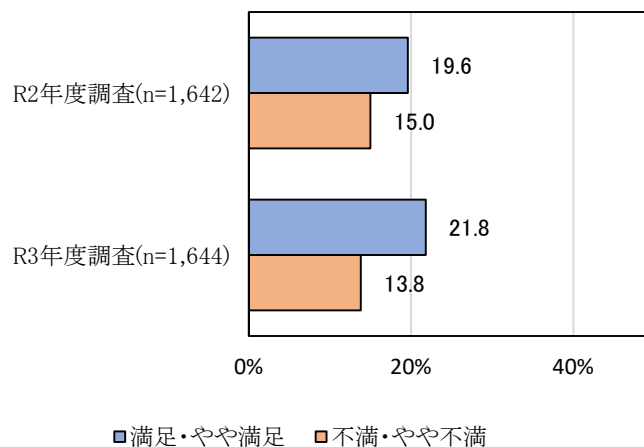
(6) 絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組



(7) 健康寿命の延伸



(9) 鳥取ならではの防災文化づくり



問 6-2-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」の施策のうち、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」「感染症に強い地域づくり」「地域で子育て世代を支える取組」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」が44.6%と最も割合が高く、次いで、「感染症に強い地域づくり」が44.4%、「地域で子育て世代を支える取組」が43.7%となっている。

性・年代別でみると、「地域を支える人財育成の取組」は男性の20歳代、40～60歳代で高く、「女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組」は女性の20歳代及び40歳代以上、「感染症に強い地域づくり」はほぼ全ての年代で男性より女性の割合が高くなっている。

図19 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度(年次比較)

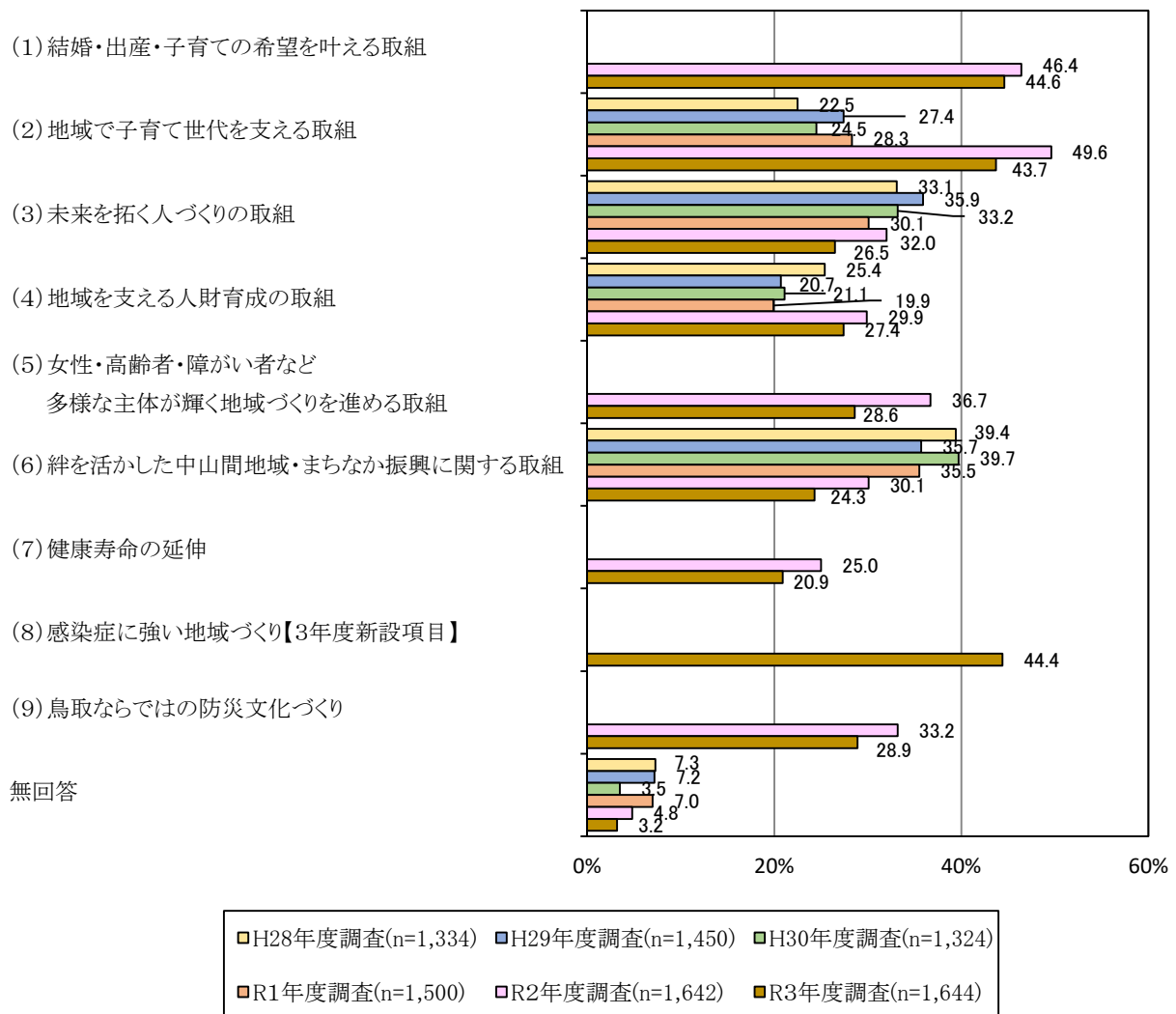
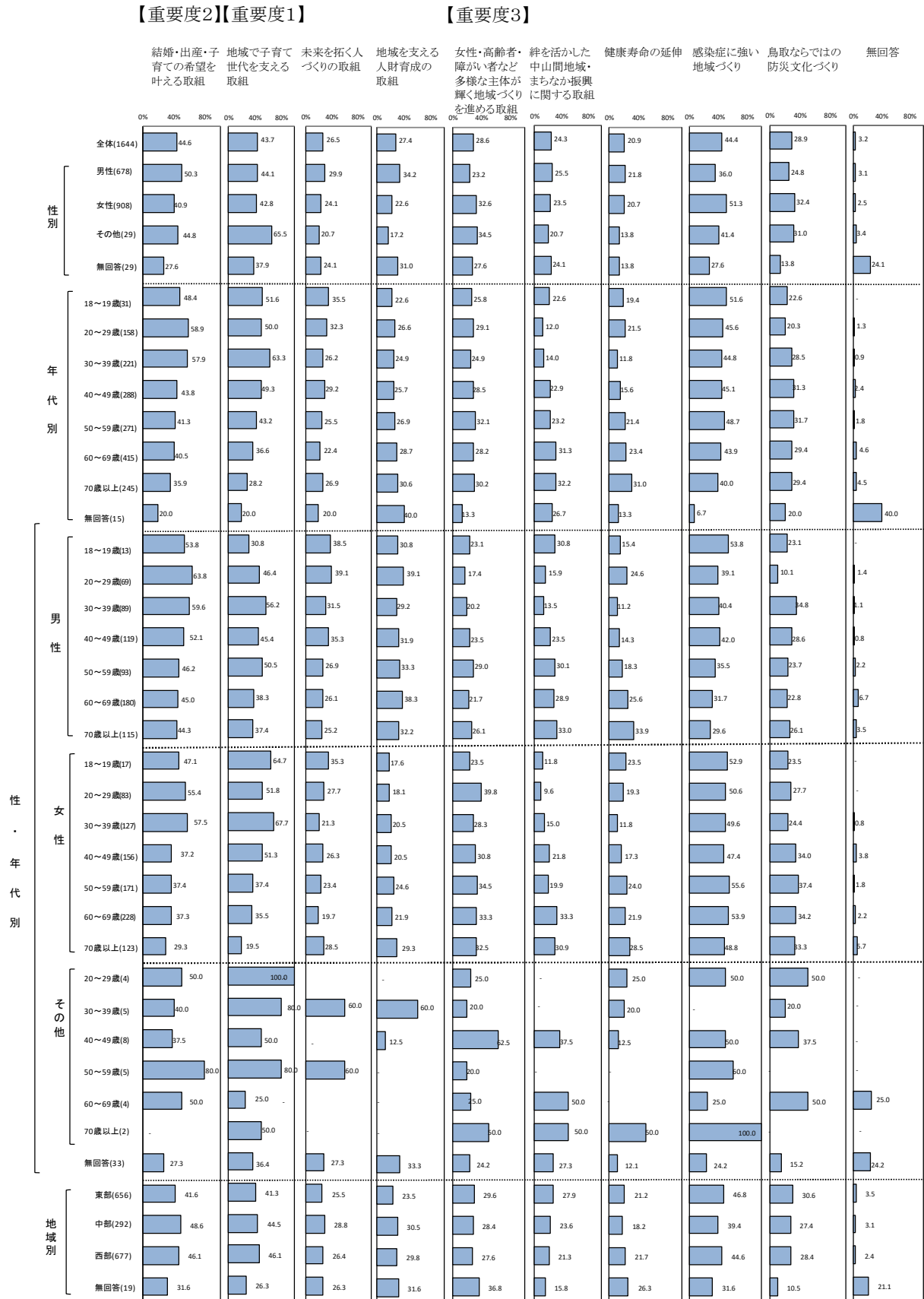


図 20 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

問 6-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度

～移住定住の取組、防災基盤構築、アート・文化の取組が上位～

「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」が21.2%と最も割合が高く、次いで「強靱な防災基盤の構築に向けた取組」が21.0%、「アート・文化による地域づくりへの取組」が20.9%となっている。

平成28年度-令和3年度を比較してみると、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」、「アート・文化による地域づくりへの取組」の満足度について、3年度は2年度から5ポイント以上減少しているものの、高い数字を維持している。

また、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」、「関係人口の拡大を進める取組」、「次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圏拡大をめざす取組」、「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」、「アート・文化による地域づくりへの取組」、「強靱な防災基盤の構築に向けた取組」の不満(不満・やや不満足)の計は、僅かながら減少傾向となっている。

図21 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度(n=1,644)

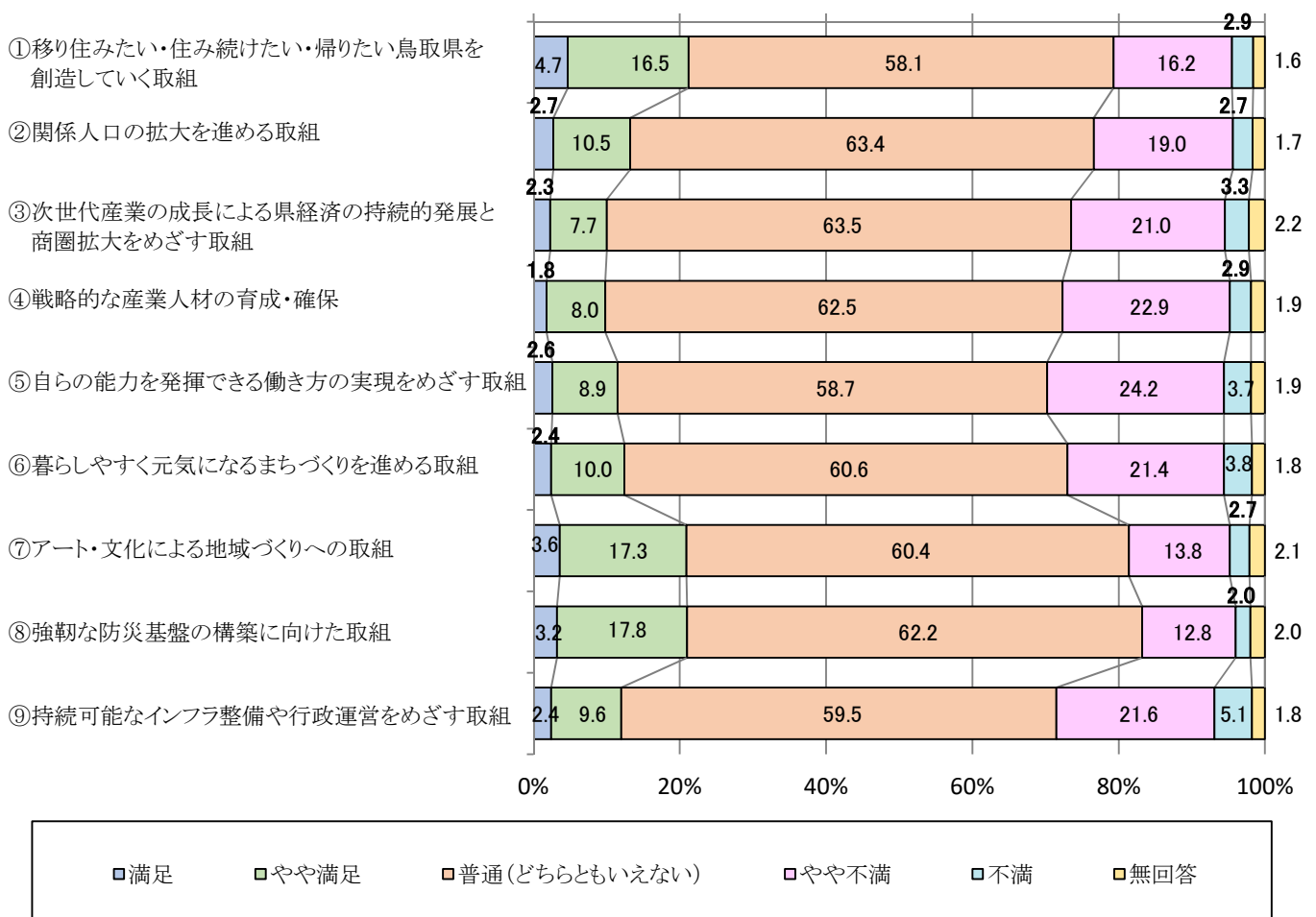
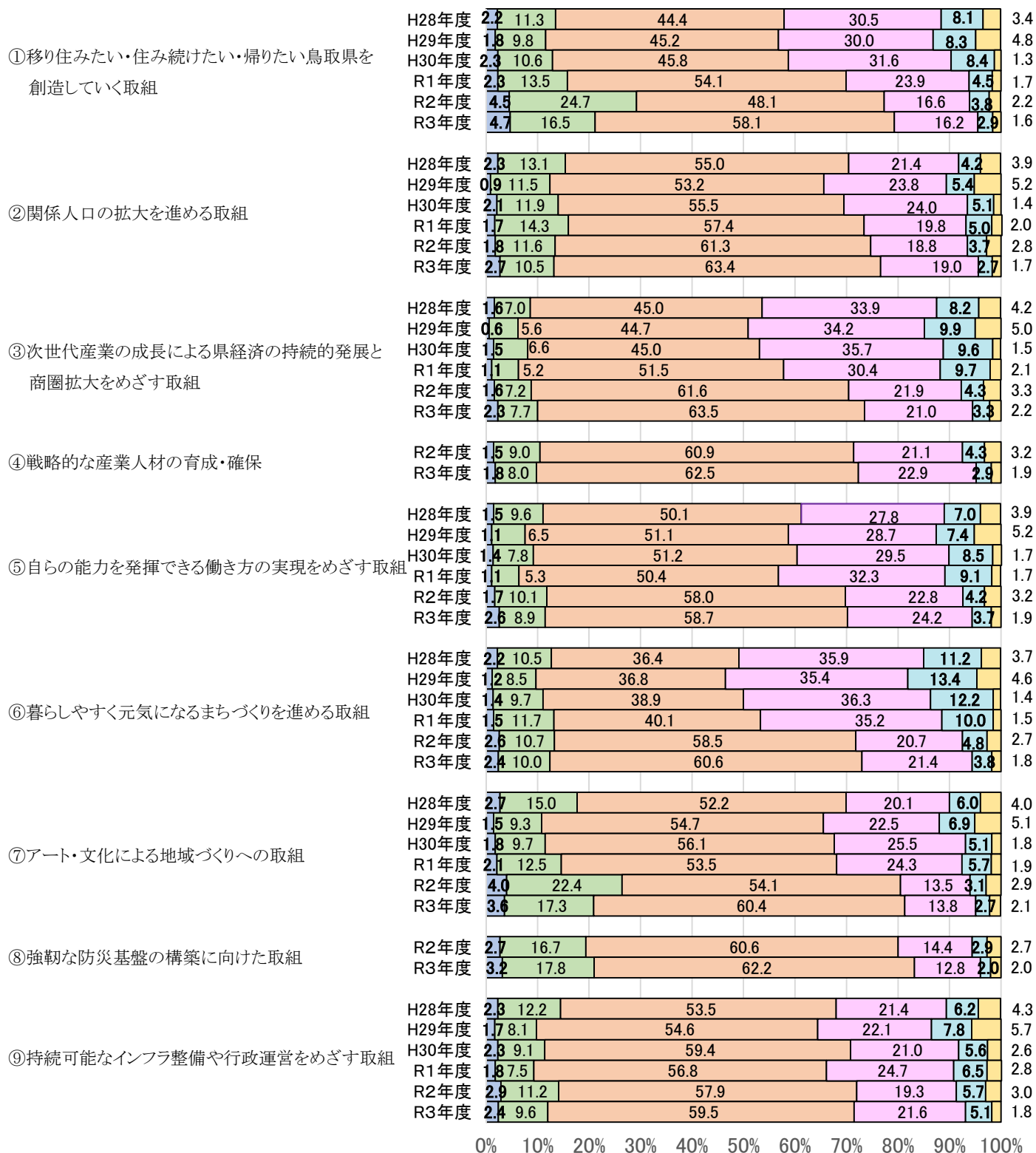


図 22 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度(年次比較)



満足
 やや満足
 普通 (どちらともいえない)
 やや不満
 不満
 無回答

●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

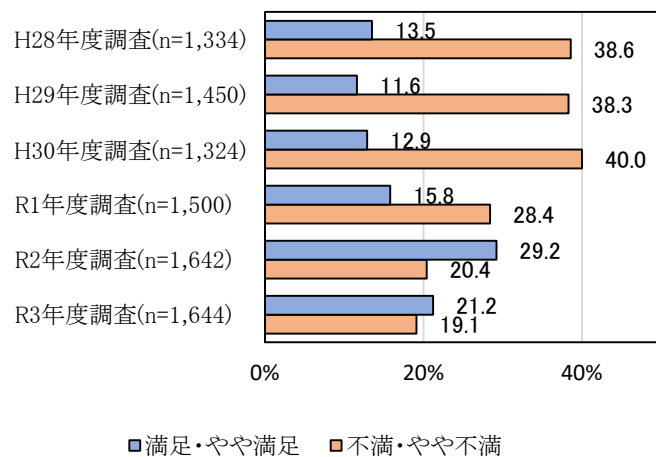
- (8) 強靱な防災基盤の構築に向けた取組 【+1.6】
- (3) 次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圏拡大をめざす取組 【+1.2】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

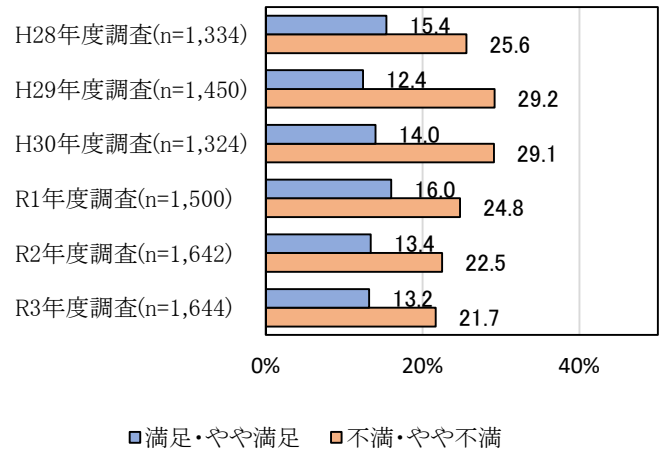
- (9) 持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組 【+1.7】
- (5) 自らの能力を發揮できる働き方の実現をめざす取組 【+0.9】
- (4) 戦略的な産業人材の育成・確保 【+0.4】

●満足度・不満足度の比較

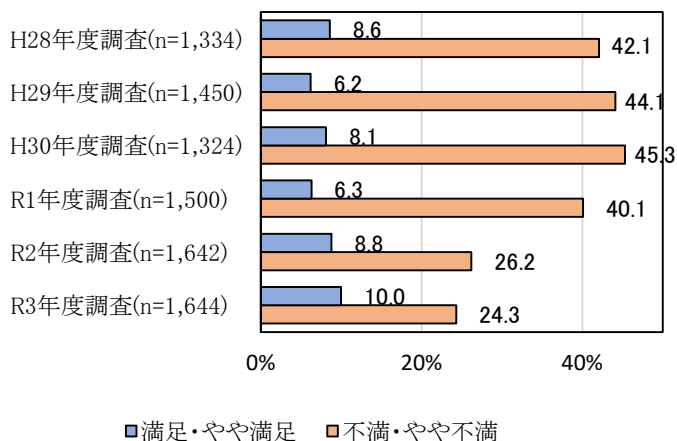
(1) 移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組



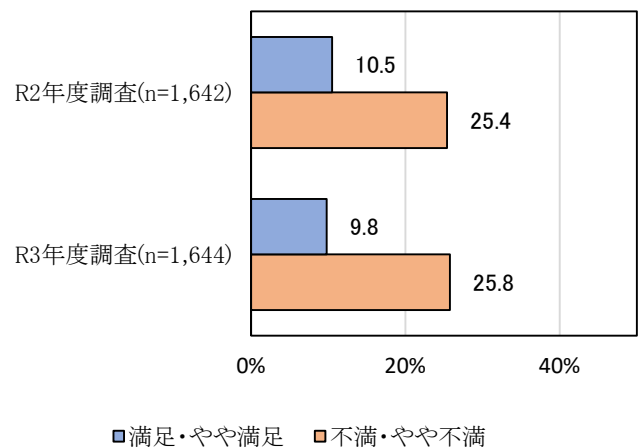
(2) 関係人口の拡大を進める取組



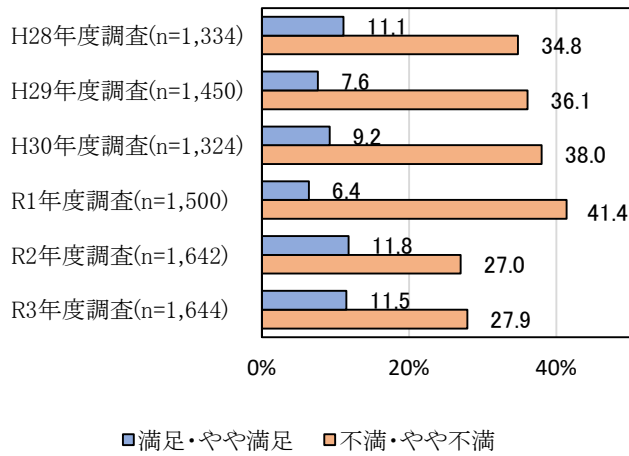
(3) 次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圏拡大をめざす取組



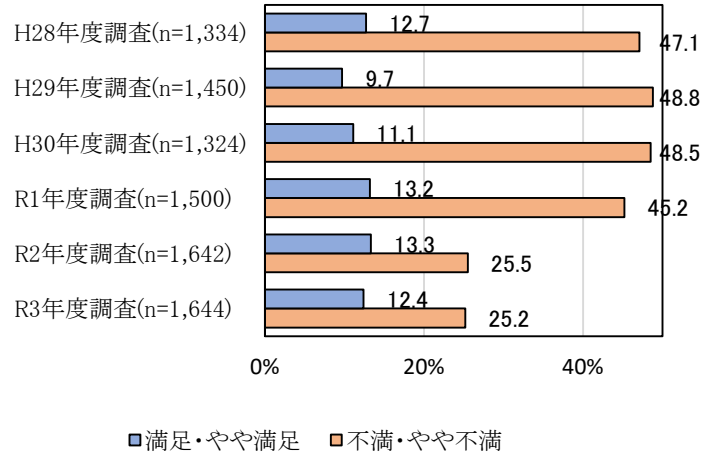
(4) 戦略的な産業人材の育成・確保



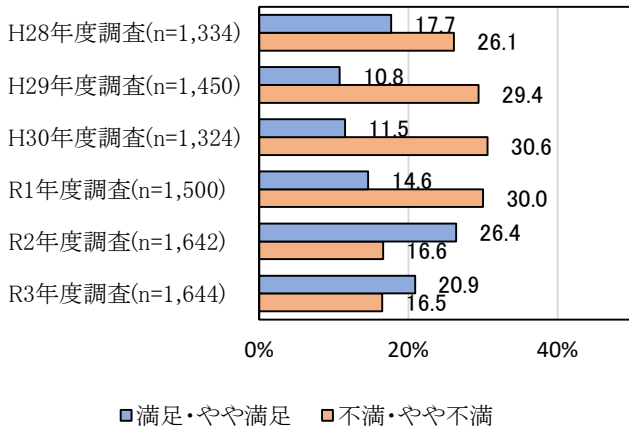
(5) 自らの能力を発揮できる働き方の実現をめざす取組



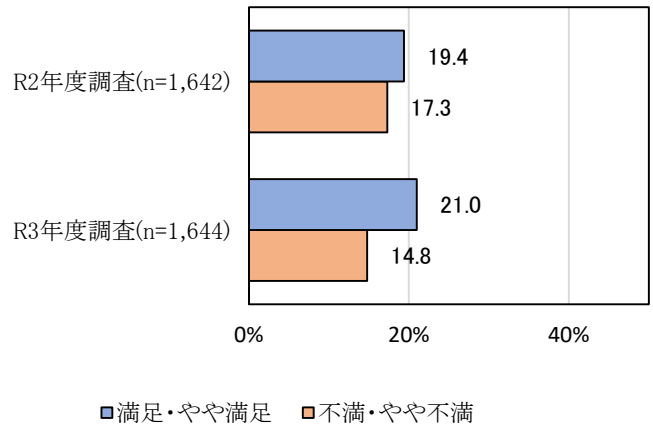
(6) 暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組



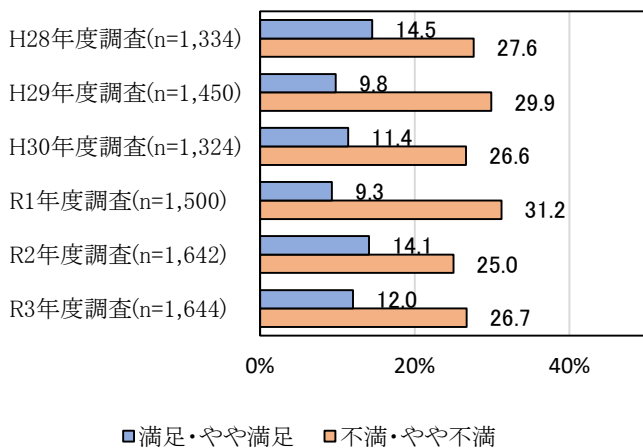
(7) アート・文化による地域づくりへの取組



(8) 強靱な防災基盤の構築に向けた取組



(9) 持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組



問 6-3-2 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」の施策等のうち、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」が59.1%と最も割合が高く、次いで「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」が43.7%、「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」が36.8%となっている。

平成 28 年度-令和3年度を比較してみると、「次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圈拡大をめざす取組」、「自らの能力を發揮できる働き方の実現をめざす取組」、「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」、「強靱な防災基盤の構築に向けた取組」について、3年度は2年度と比較して増加している。

性・年代別でみると、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」は、男性の 20～50 歳代、女性の 20～30 歳代で高くなっている。ほぼ全ての年代において「関係人口の拡大を進める取組」は女性より男性が高く、「自らの能力を發揮できる働き方の実現をめざす取組」は男性より女性が高くなっている。また、「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」は 60 歳代以下の全ての年代で男性より女性が高くなっている。

図23 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度(年次比較)

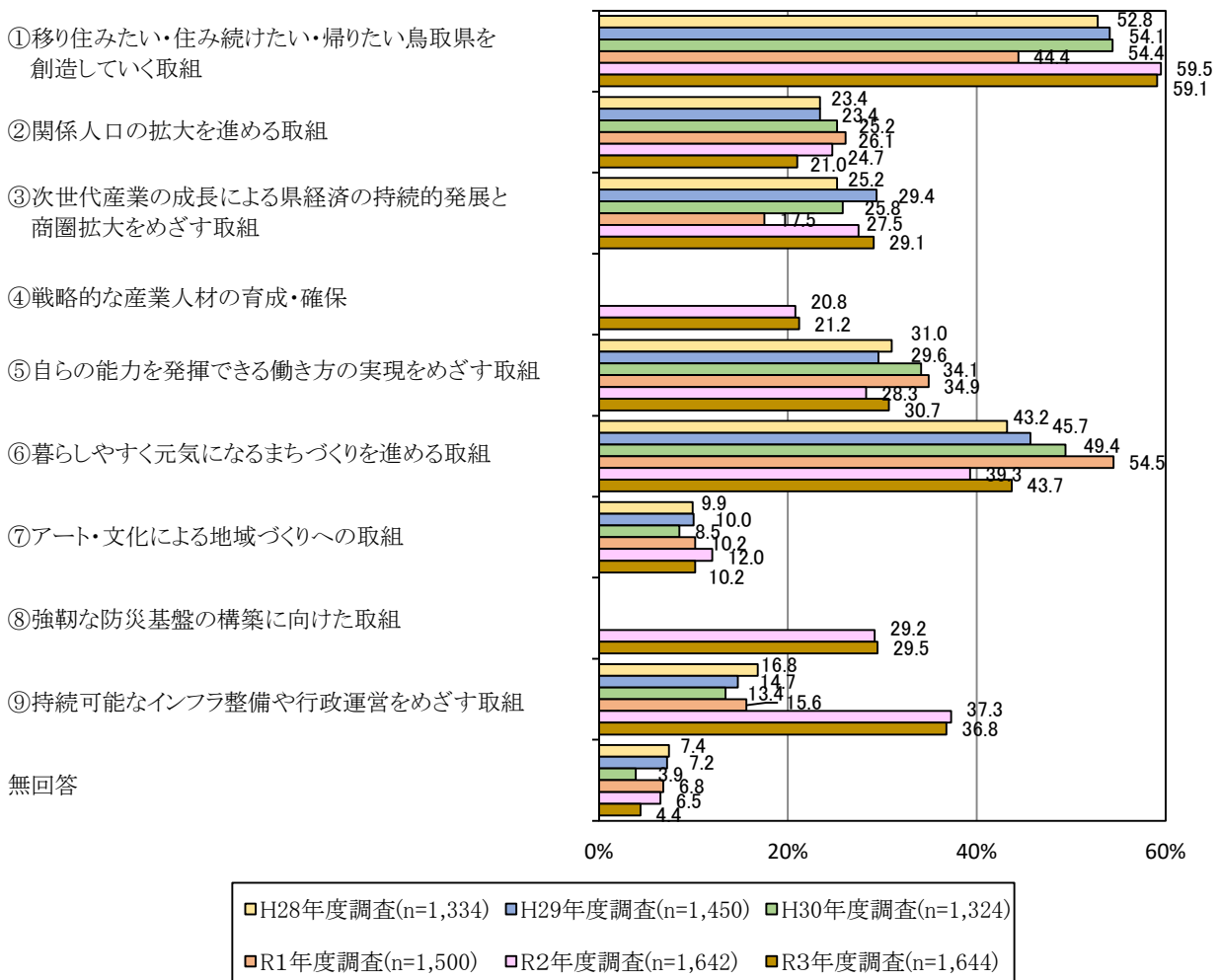
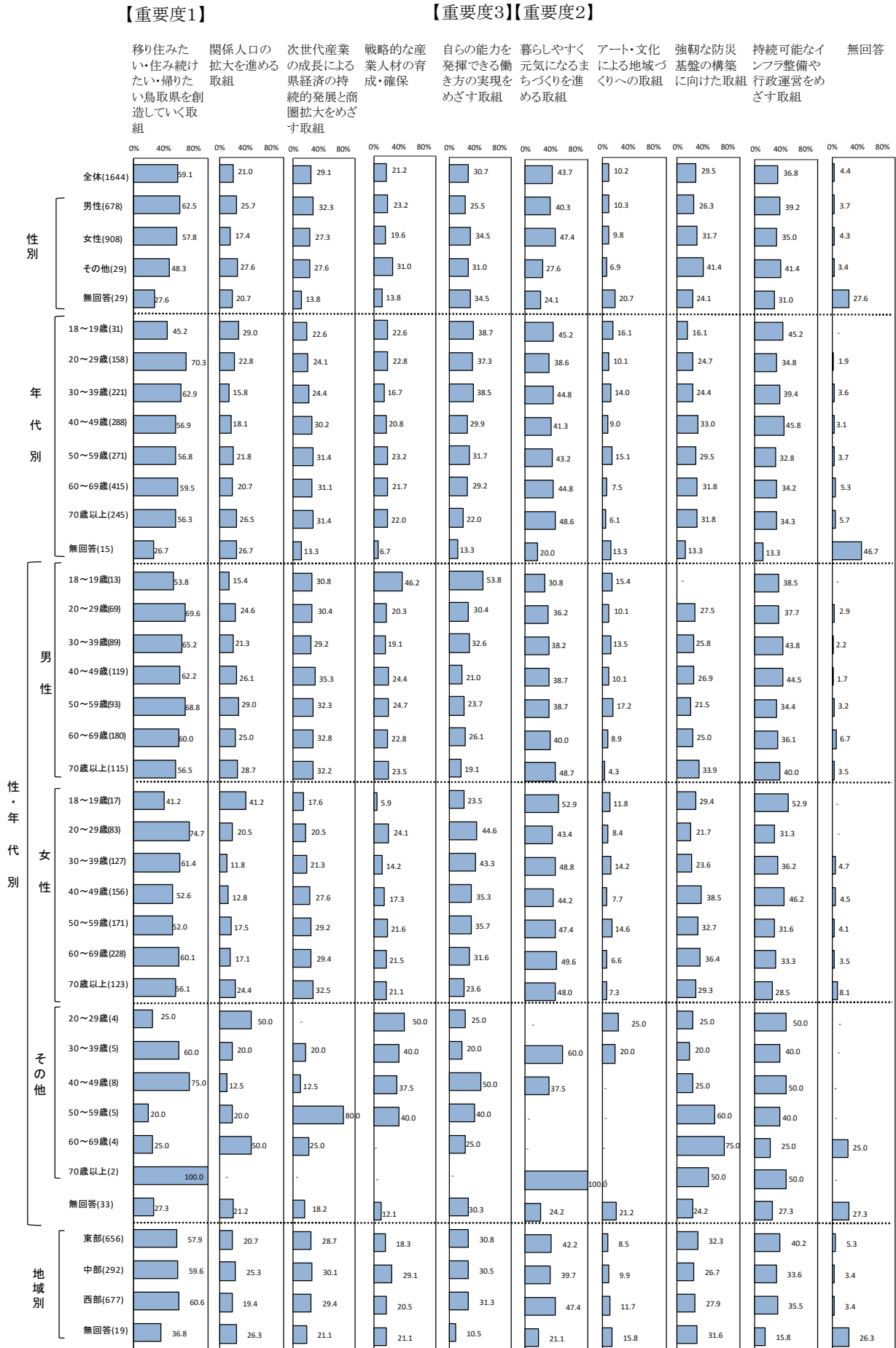


図 24 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



4 男女共同参画社会づくり

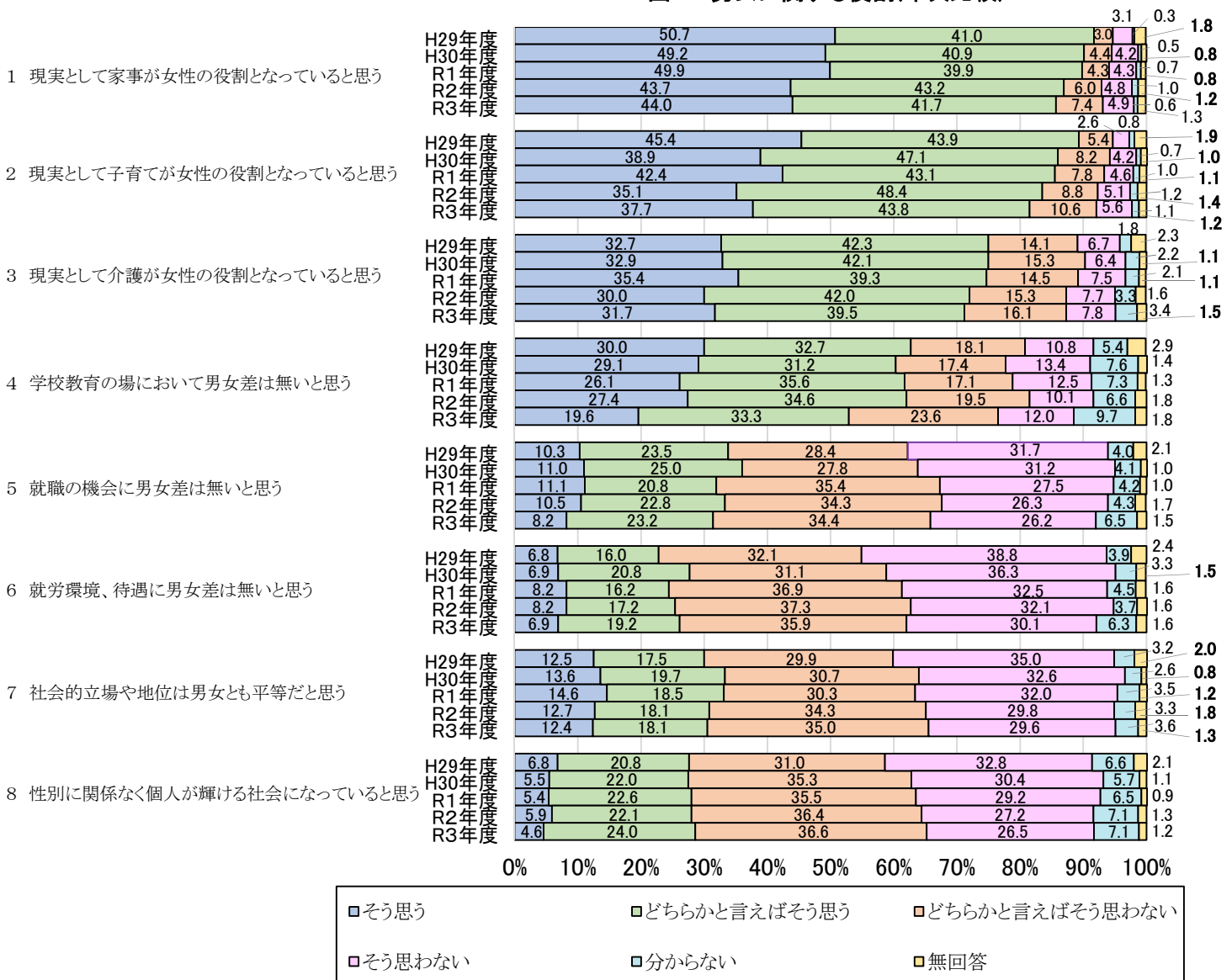
問7 男女に関する役割などについてお聞きします。次の項目(設問)についてどう思われますか。項目ごとにいずれかに○を記入してください。

～現実として「家事、子育て、介護が女性の役割」となっていると思う人が多数～

男女に関する役割などについて、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」を合わせると、「現実として家事が女性の役割となっていると思う」が85.7%と最も割合が高く、次いで「現実として子育てが女性の役割となっていると思う」が81.5%、「現実として介護が女性の役割となっていると思う」が71.2%となっている。

平成29年度～令和3年度を比較してみると、上記の3項目について「そう思う」・「どちらかと言えばそう思う」の計の割合が年度毎に減少している。また、「学校教育の場において男女差は無いと思う」は、「そう思わない」・「どちらかと言えばそう思わない」の計について、3年度は2年度と比較し6.0ポイント増加している。

図25 男女に関する役割(年次比較)



問8 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思いますか。(〇は3つまで)

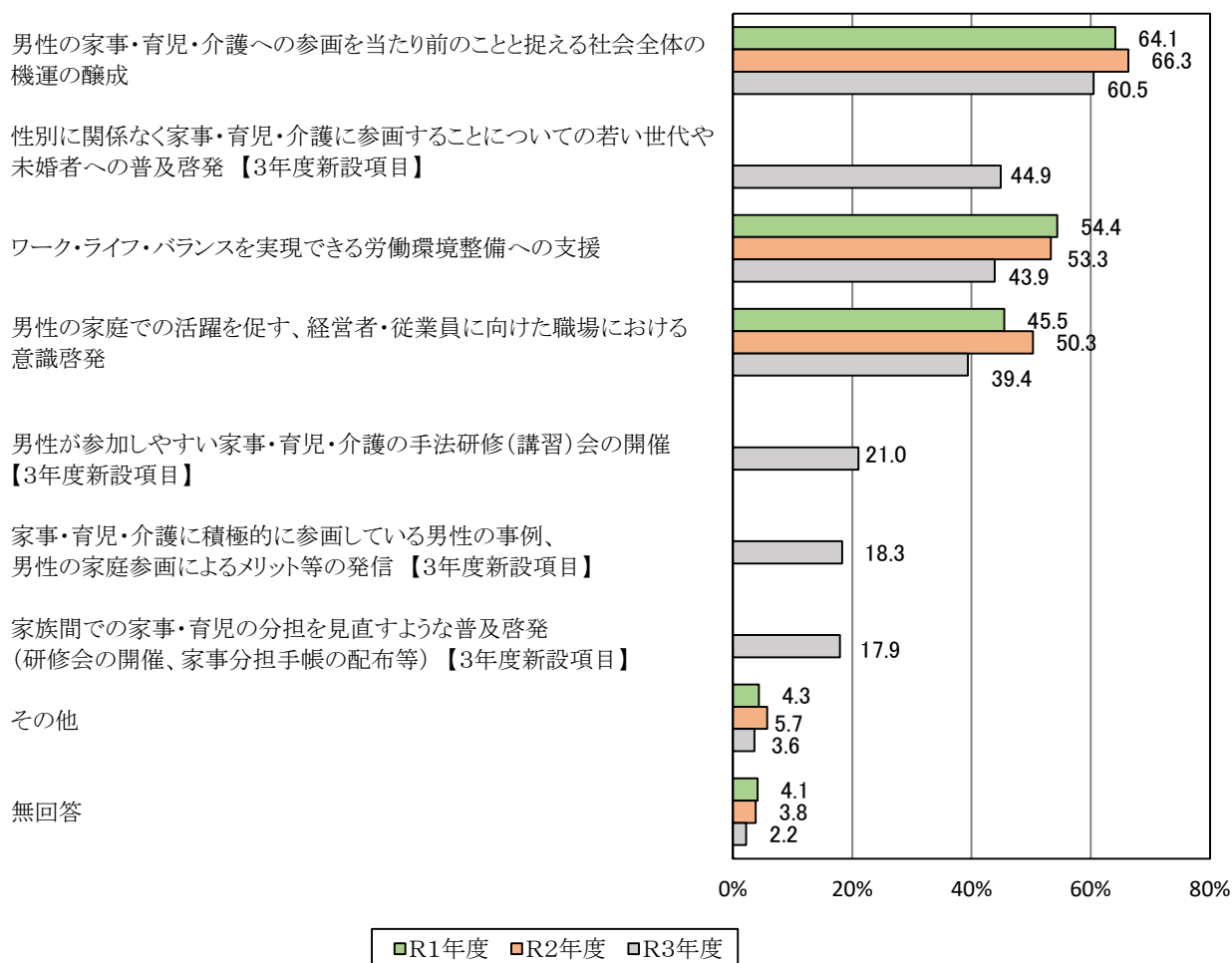
～「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」
「性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発」
「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」が上位～

男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」が60.5%と最も割合が高く、次いで「性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発」が44.9%、「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」が43.9%となっている。

令和元年度-令和3年度を比較してみると、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」は6割台で推移している。

年代別でみると、「性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発」は50歳以上で高く、「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」は40歳代以下で高くなっている。

図26 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために行政が行うべき施策(年次比較)



問9 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思えますか。(〇は3つまで)

～「就労における男女の機会均等や働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」や「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実」の取組が上位～

男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは、「就労における男女の機会均等や働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」が52.6%と最も割合が高く、次いで「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実」が51.0%、「子育てや介護等で離職した人の再就職支援」が39.2%となっている。

3年度は、全ての項目で2年度より増加しており、「就労における男女の機会均等や働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」は10ポイント以上増加している。

図28 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきこと(年次比較)

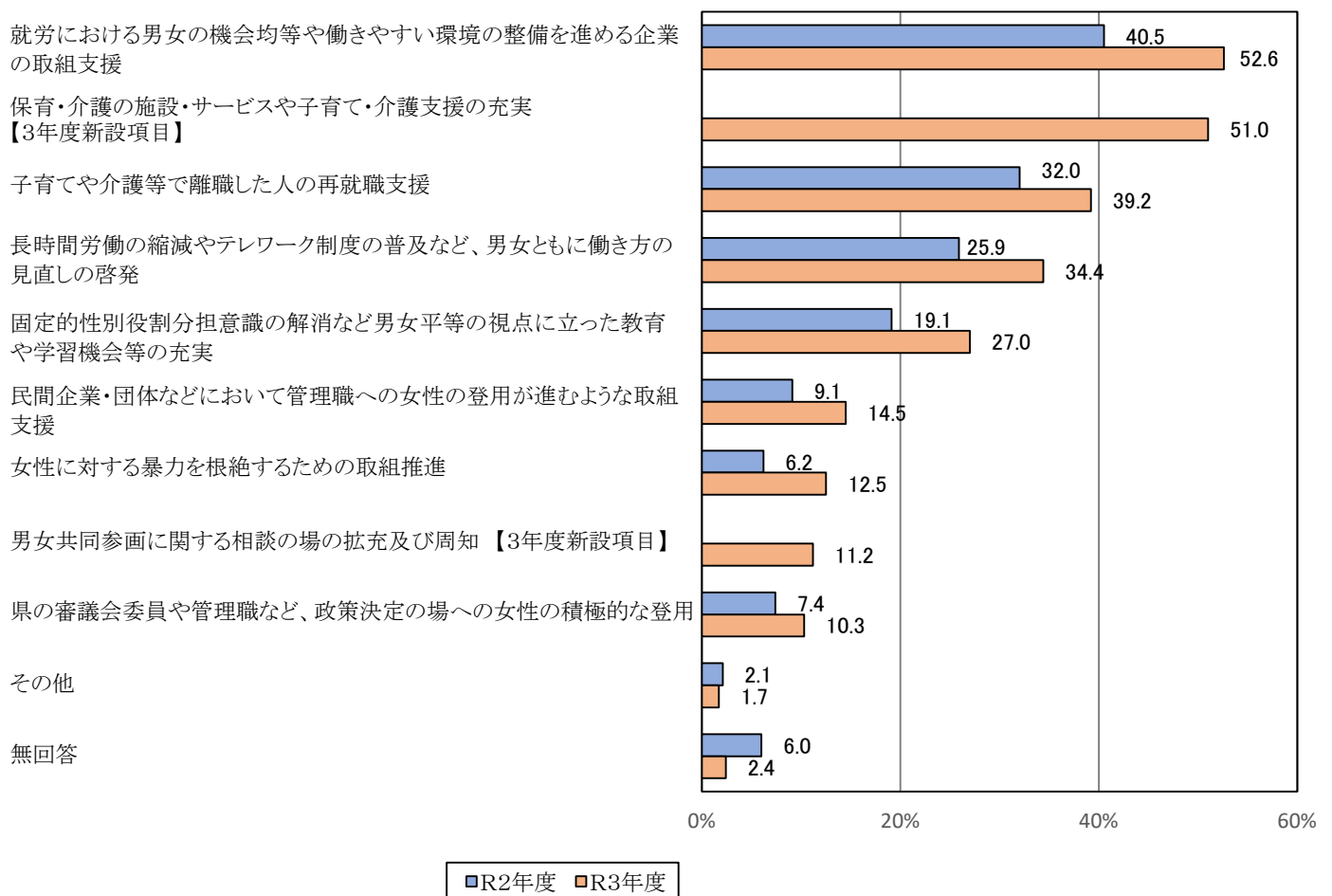
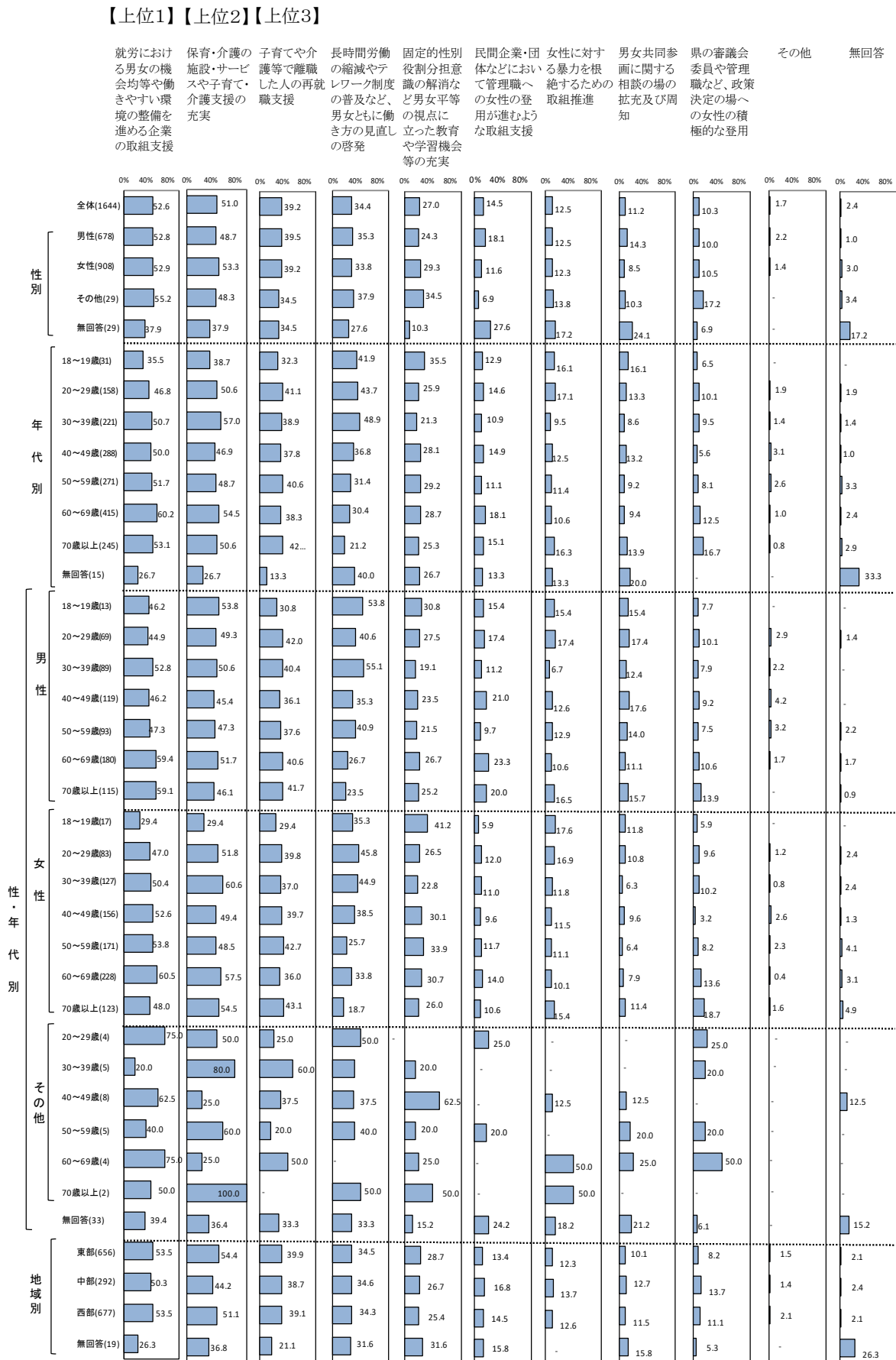


図 29 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきこと(性別・年代別・地域別)



5 SDGs(持続可能な開発目標)の推進

問 10 あなたは国連で採択された SDGs という言葉・内容を聞いたことがありますか。

～「聞いたことがある」が約7割、「聞いたことがない」が約3割～

国連で採択された SDGsという言葉・内容を聞いたことがあるかについて、「聞いたことがある」が72.9%、「聞いたことがない」が26.0%となっている。

3年度と2年度を比較すると、「聞いたことがある」の割合が2倍以上と大幅に増加し、「聞いたことがない」の割合が大幅に減少している。

年代別でみると、「聞いたことがある」は50歳代以下で高くなっている。

図30 国連で採択されたSDGsという言葉・内容を聞いたことがあるか(年次比較)

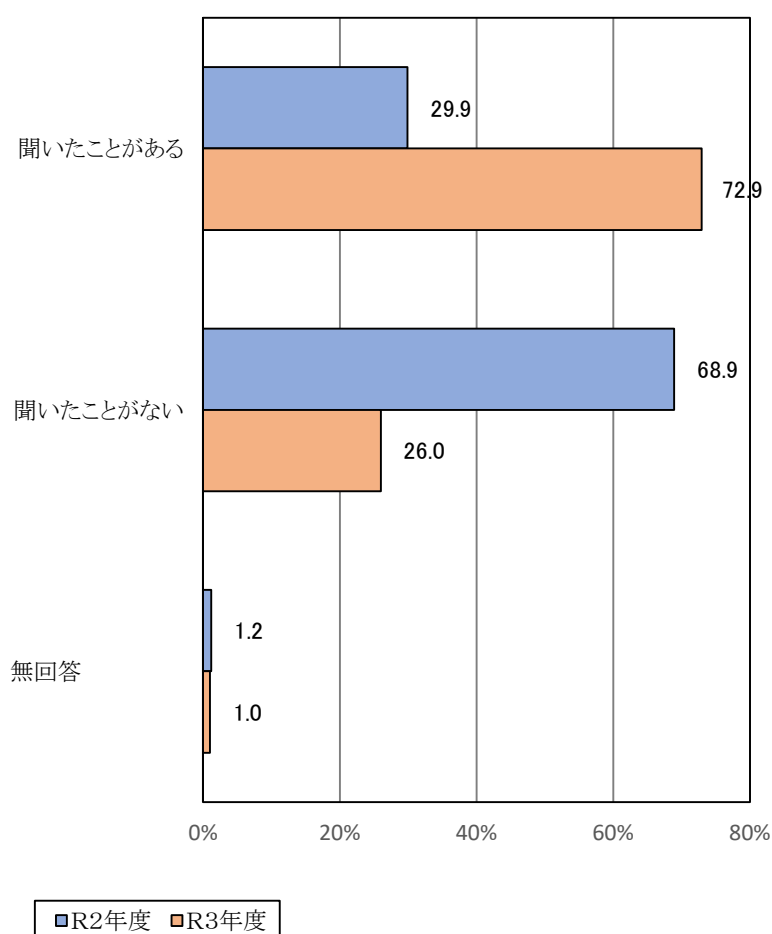
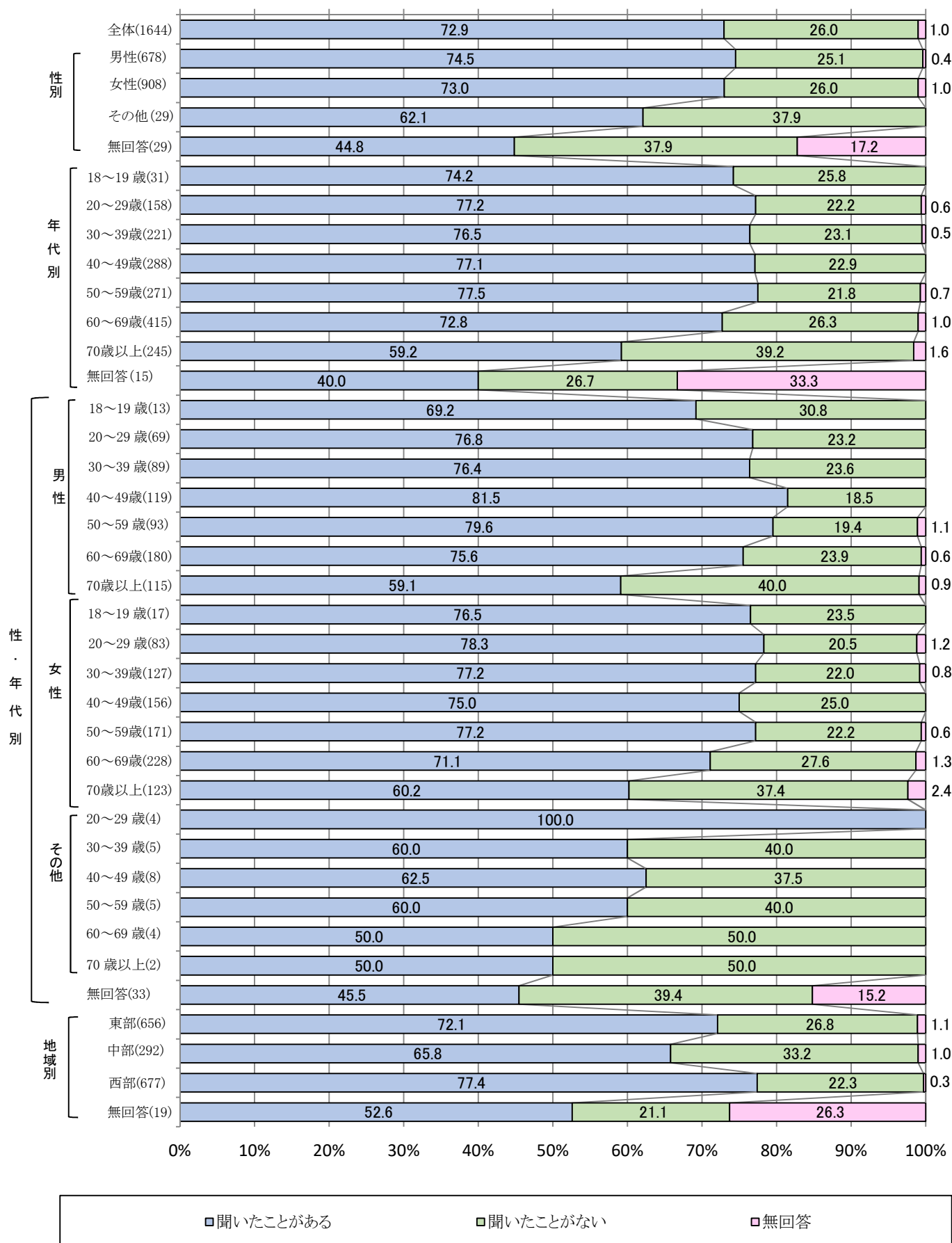


図31 SDGsという言葉・内容を聞いたことがあるか(性別・年代別・地域別)



問 11 (「聞いたことがある」と回答した方へ)SDGsという言葉・内容をどうやって知りましたか。
(〇はいくつでも)

～「テレビ」が最も多く「新聞・雑誌」が次に多い～

SDGsという言葉・内容をどうやって知ったかについて、「テレビ」が 77.9%と最も割合が高く、次いで、「新聞・雑誌」が 47.7%、「インターネット」が 28.4%となっている。

3年度と2年度を比較すると、「テレビ」が約 30 ポイントの増加となっている。

年代別で見ると、「テレビ」は全ての年代で高く、「新聞・雑誌」は 40 歳代以上で高く、「インターネット」は 30 歳代以下で高くなっている。

図32 SDGsという言葉・内容をどうやって知ったか(年次比較)

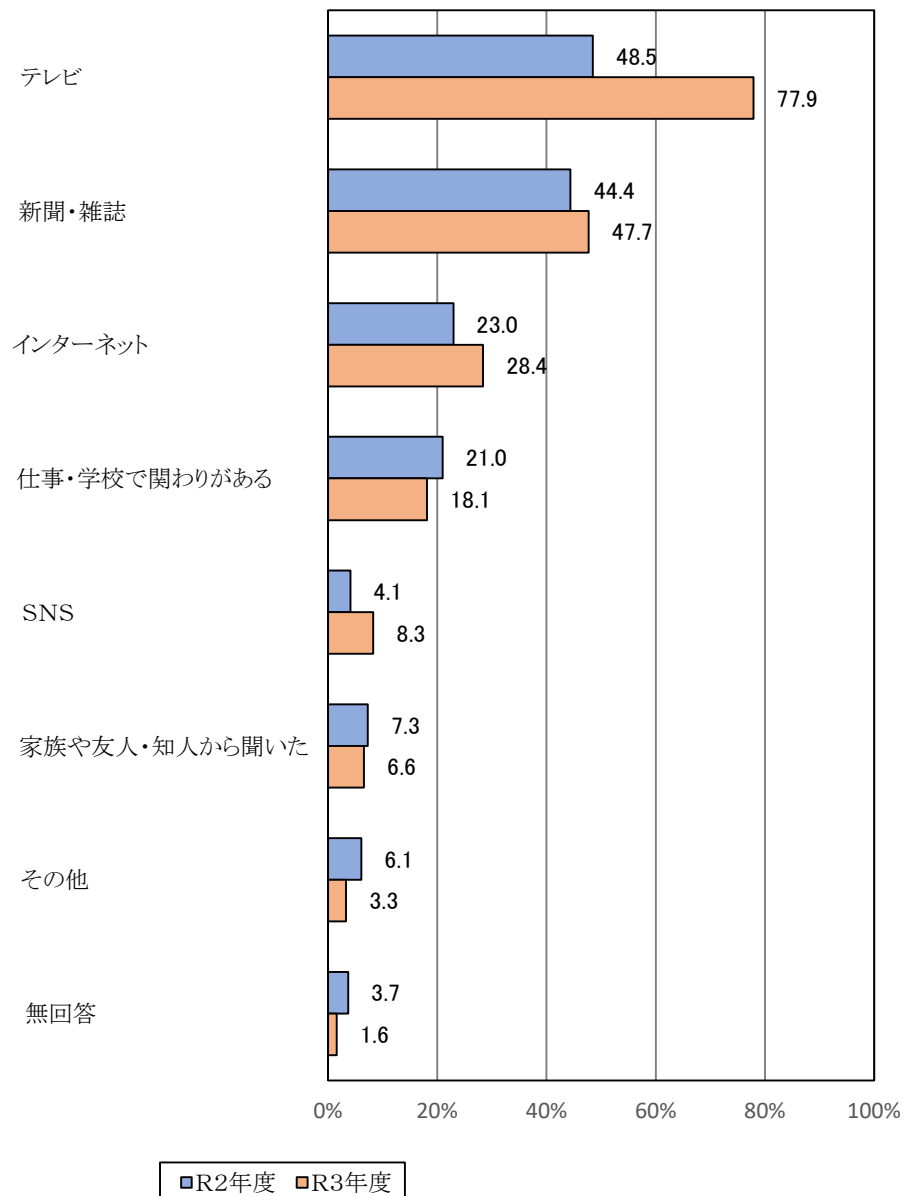
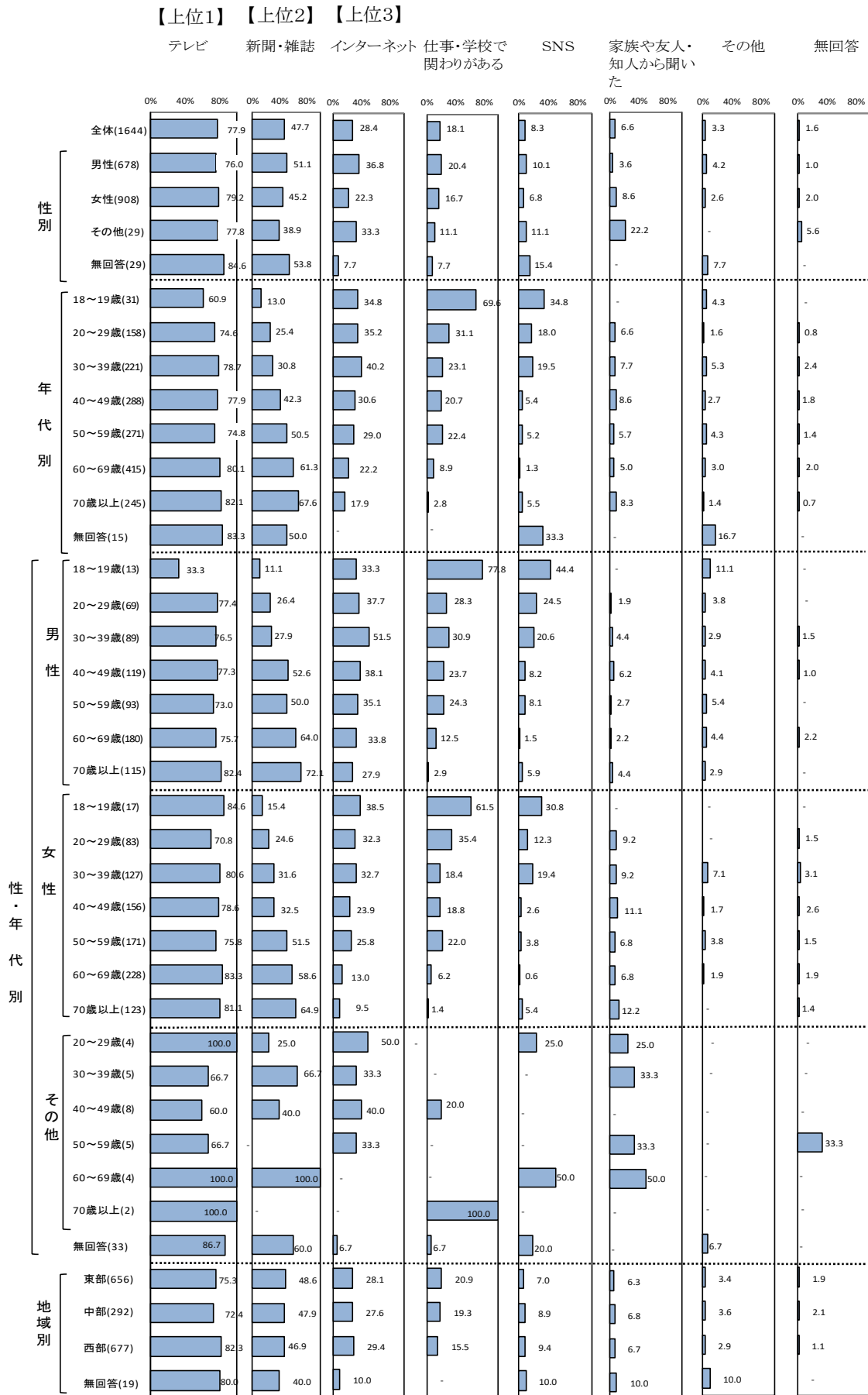


図 33 SDGsという言葉・内容をどうやって知ったか(性別・年代別・地域別)



問 12 あなたは SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心がありますか。(〇はいくつでも)

～「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」「平和と安全・安心社会の実現」が上位～

SDGsの8つの優先課題のうち、関心がある課題について、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が53.4%と最も割合が高く、次いで「平和と安全・安心社会の実現」が53.2%、「生物多様性、森林、海洋等の環境の保全」が42.5%となっている。

3年度と2年度を比較すると、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」は約10ポイント増加している。

年代別でみると、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」は60歳代以上で高く、「平和と安全・安心社会の実現」、「生物多様性、森林、海洋等の環境の保全」は40歳代及び60歳代で高くなっている。

性・年代別でみると、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」は男性の60歳代以上、「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」は男性の30～60歳代で高くなっている。「平和と安全・安心社会の実現」は女性の40～60歳代、「あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現」は女性の30歳代以下で高くなっている。

図34 SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心があるか(年次比較)

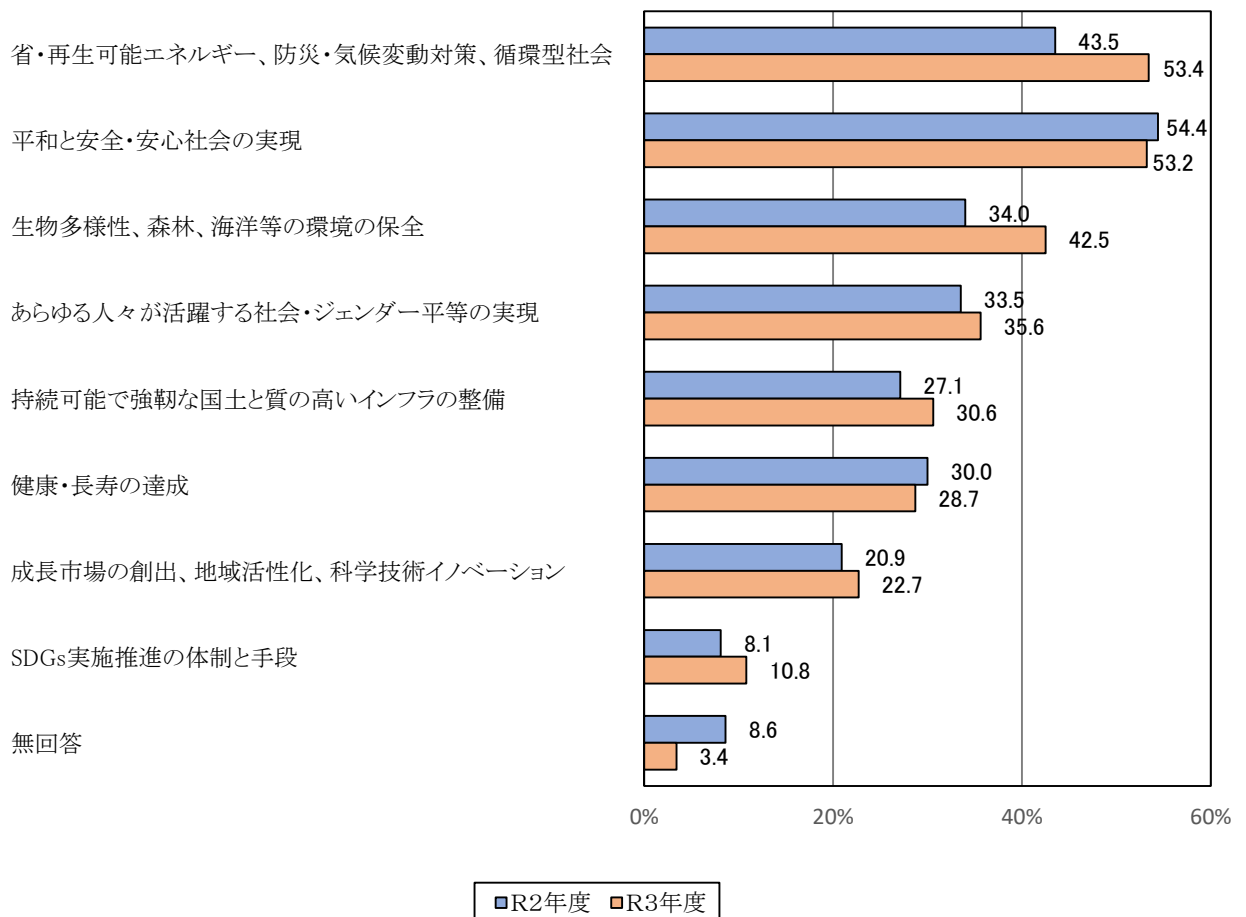
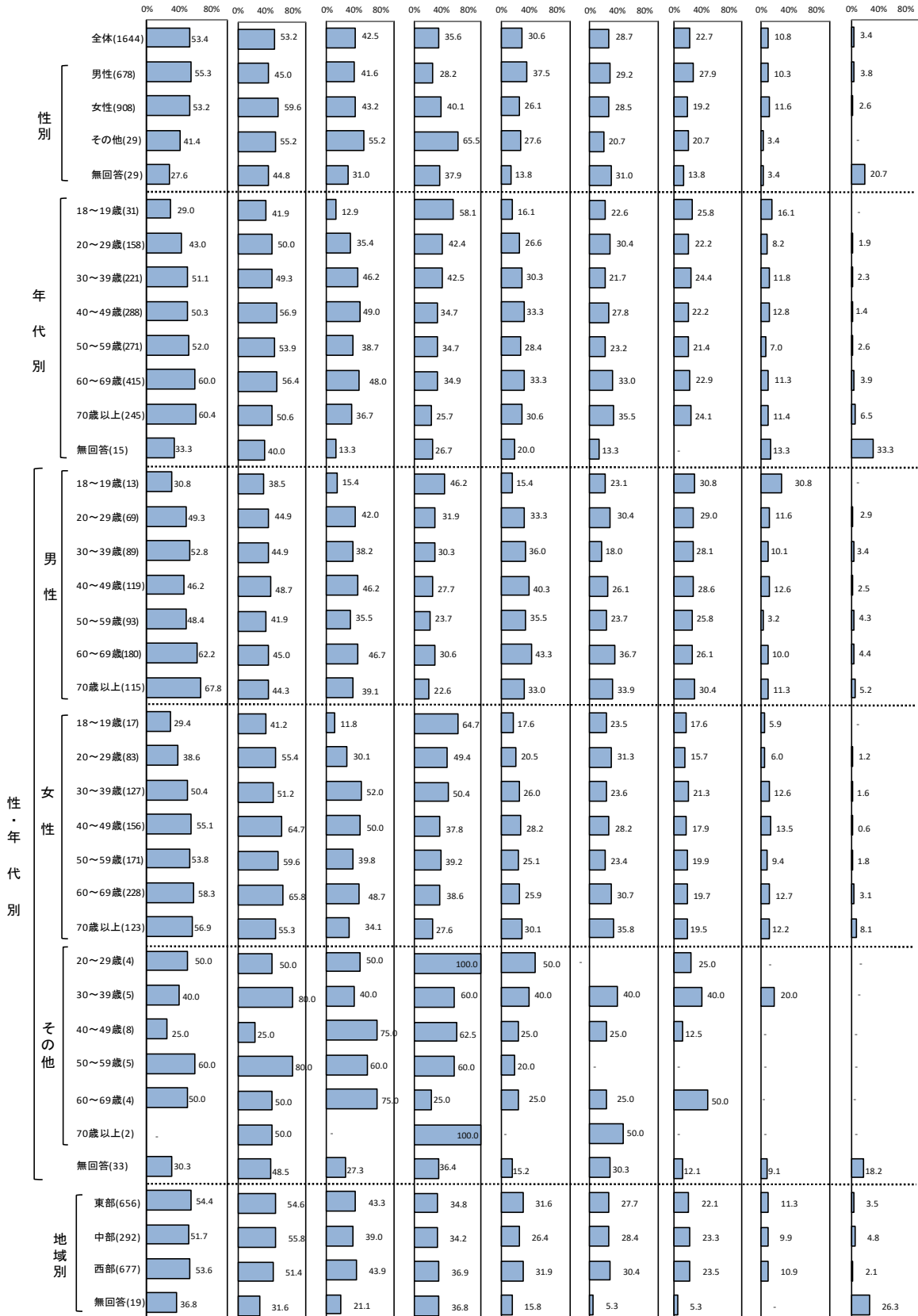


図 35 SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心があるか(性別・年代別・地域別)

【上位1】 【上位2】 【上位3】

省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会
 平和と安全・安心社会の実現
 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
 あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現
 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
 健康・長寿の達成
 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション
 SDGs実施推進の体制と手段
 無回答



問 13 あなたは SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて、行政が特に力を入れるべき課題は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

～「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」「平和と安全・安心社会の実現」が上位～

SDGsの8つの優先課題のうち、行政が特に力を入れるべき課題について、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が47.7%と最も割合が高く、次いで「平和と安全・安心社会の実現」が42.2%、「生物多様性、森林、海洋等の環境の保全」が38.1%となっている。

年代別でみると、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」、「平和と安全・安心社会の実現」は60歳代以上で高く、また、「成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション」、「あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現」は20～30歳代で割合が高くなっている。

性・年代別でみると、「平和と安全・安心社会の実現」は女性の40歳代以上で高く、「成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション」は男性の50歳代以下で高くなっている。

図36 SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて行政が特に力を入れるべき課題(n=1,644)

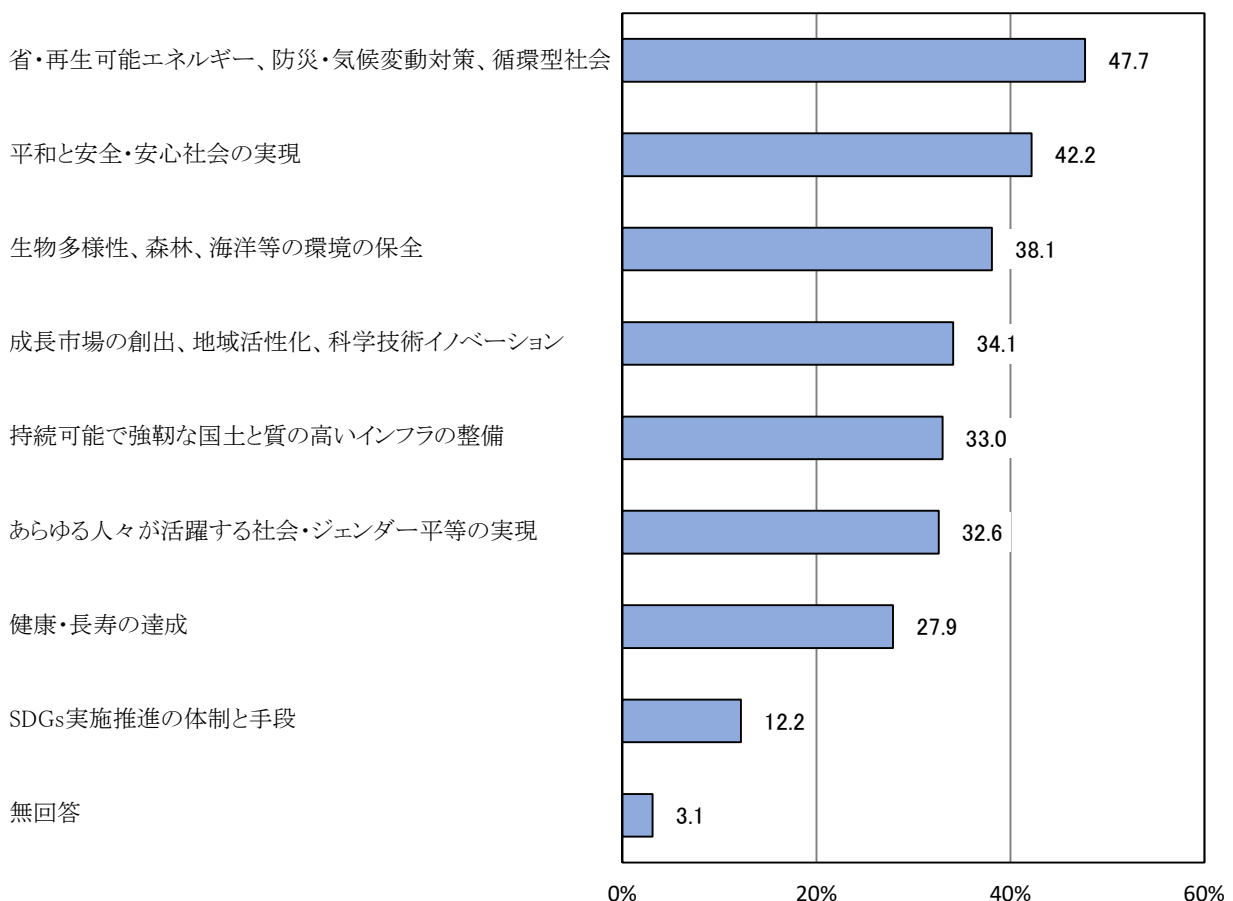


図 37 SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて、行政が特に力を入れるべき課題
(性別・年代別・地域別)

